

STUDY ABROAD

Handbook for 2026



SOPHIA UNIVERSITY

留学ハンドブック 2026

上智大学 グローバル教育センター

学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee



学生留学委員会委員長 飯島真里子 教授

〔グローバル化推進担当副学長／外国語学部教授〕

Professor Mariko Iijima

Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee

Vice President for Global Academic Affairs

Professor, Faculty of Foreign Studies

皆さん、こんにちは。このハンドブックを手にした学生の皆さんの多くは、留学に対して少なからず関心と期待を抱いていることと思います。私もかつて6年ほど英国の大学院に留学していました。それまで海外経験がなかったため、留学生活を始める前は、英語力を磨きたい、専攻の歴史学をもっと深く学びたいといった、能力や知識の向上に対する期待を持っていました。しかし、いざ留学生活を始めてみると、薄暗い英国での越冬は精神的につらかったり、良くも悪くも「アジア人」として見られることに違和感を覚えたりと、些細なことでもつらく思う瞬間が多々ありました。そんな中、日々の生活や勉学の苦勞を分かち合い、お互い励まし合ったのが留学先で出会った教員や友人たちです。たとえ、言語・文化・宗教・人種などの背景が異なっても、共通の経験を通じて分かり合えるということを実感しました。それは、留学前には全く想像していなかったことです。皆さんも、海外で生活・勉学することで、予想していなかったことに直面すると思いますが、その経験は今後の人生の糧になることでしょう。

とはいえ、私は20数年前に本学の英語学科で学びましたが、在学中は留学することはありませんでした。その理由のひとつが、一年の交換留学プログラムがほとんどで、「長期」の海外滞在が大きなハードルだったからです。現在では、長期の交換留学に加え、一学期間の留学、短期語学講座、研修やインターンシップなど、多様なプログラムが提供されています。また、交換留学協定校（64カ国349校（2026年3月現在））も豊富にあり、語学研修から実践型プログラムまでそれぞれの目的に合った海外経験を積むことが可能です。さらに、上智大学では毎年600名以上の外国籍学生が交換留学生として学んでおり、キャンパス内は世界の縮図と言ってもよいほど国際色に溢れています。このような上智の特色を生かし、キャンパス内でも「海外経験」を増やすことが可能です。

留学したい気持ちはあるけど、どのような準備をすればいいのか、どの大学でどのようなことが学べるのか、といった初歩的な質問も多くあると思います。このハンドブックでは、留学プログラムや交換留学協定校の情報に加え、留学の準備や計画、留学モデルケースが分かりやすくまとめられています。ハンドブックを読みながら、自分に合ったプログラムや留学先を探しつつ、実際に必要な準備についても十分理解するよう心掛けてください。さらに、グローバル教育センターや留学カウンセリング制度がありますので、一人で悩まず、学内のサポートを有効活用することで、充実した海外留学・研究プランを立ててください。

米国の歴史家リン・ハントはグローバル化を「世界がより相互に結合して相互に依存していく過程」と表現しました。近年では、情報・金融・思想・主義などの非人間的要素のグローバルな移動や浸透が着目されがちですが、人と人が結びつき、お互い助け合っていくことはグローバル化を支えるとても重要な基盤です。皆さんが、海外での勉学・研究・研修を通じて、多様な背景を持つ人々や地域と結びつき、グローバル化の担い手として様々な能力（語学力、専門知、人間力）を身につけ、磨きをかけていくことを期待しています。

—アフリカとつながる上智大学のグローバル教育—

日本アフリカ協働実践プログラム

Sophia-Africa Future Initiatives for Collaborations (SAFICs)

—文部科学省「大学の世界展開力強化事業」採択プログラム—

いま、世界はかつてないスピードで変化しています。気候変動、貧困、格差、紛争、保健医療、エネルギー問題—こうした地球規模課題の最前線に位置する地域の一つが、アフリカです。アフリカ地域では経済の急速な発展による大気汚染や水質汚染、森林伐採など、環境への負荷が深刻化しており、環境保全を犠牲にせず経済成長を実現する方法を模索することが必要です。

上智大学は、文部科学省の令和7年度「大学の世界展開力強化事業(グローバル・サウスの国々との大学間交流形成支援：アフリカ諸国)」に採択されました。この採択を受けて、本学がこれまで積み重ねてきたアフリカ地域との教育・研究交流の実績をさらに展開し、「日本アフリカ協働実践プログラム：Sophia-Africa Future Initiatives for Collaborations (SAFICs)」として新たな履修証明を開始します。この履修証明では、人類学、社会学、経済学、地球環境学など多角的なアプローチから、主にアフリカ地域における経済発展と環境保全を両立した持続可能な循環型社会の実現に向けて、広く社会に貢献する学生を育成することを目的としています。

アフリカ地域の連携大学

大学名	国名
Stellenbosch University	南アフリカ共和国
Egypt-Japan University of Science and Technology (E-JUST)	エジプト・アラブ共和国
Jesuit University of Abidjan	コートジボワール共和国
Félix Houphouët-Boigny University	コートジボワール共和国
Arrupe Jesuit University	ジンバブエ共和国
University Cheikh Anta Diop (UCAD)	セネガル共和国
University of Ghana	ガーナ共和国

① アフリカへ留学する — 異なる現実に触れ、視野を広げる

上智大学では、エジプト、南アフリカ、ガーナ、コートジボワールなど、アフリカ諸国の大学・研究機関と連携し、交換留学や短期プログラムを実施しています*。現地での学びは、教室の中だけでは得られない「生きた課題」と向き合う機会です。参加学生は、開発、教育、環境、平和構築、経済など、さまざまなテーマを現地の視点で学び、自らの問題意識を深めていきます。

* 交流プログラムの内容は連携大学により異なります。

② アフリカの学生と共に学ぶ — COIL (オンライン国際協働)

「留学はハードルが高い」と感じる方にも開かれているのが、COIL (Collaborative Online International Learning) で、アフリカの大学と連携し、オンライン上で学生同士が共修し、共通のテーマに取り組む授業を多数展開しています。ディスカッション

やグループワークなどを通じて、異文化コミュニケーション力、グローバル課題への理解、協働して課題解決に取り組む力を実践的に身につけることができます。国内にいながら、世界とつながる学びがここにあります。

③ 学びを「かたち」にする — 科目履修・実践活動と履修証明

上智大学では、アフリカ地域や国際協力、地球環境に関わる科目や実践活動を含むプログラムを多数開講しています。これらを単体で履修・参加することもできますが、体系的に履修し、所定の単位を取得した学生に対して、履修証明「日本アフリカ協働実践プログラム (SAFICs)」(オープンバッジ*)を発行します。取得した履修証明は、将来の進学や就職活動においても、あなたがどんな課題に向き合い、どのように学んできたかを示す“学びの証”となります。

履修証明「日本アフリカ協働実践プログラム (SAFICs)」の取得を目指す場合は、基礎科目「Sophia-Africa Future Initiatives for Collaborative Solutions (SAFICs)」(英語・フランス語開講*)と、選択必修科目群の中からいずれか3科目、実践科目一つを履修した上で、履修証明の発行申請をします。科目の詳細は、履修要覧を参照してください。

*1：オープンバッジとは：デジタルで発行・共有できる技能証明(デジタル証明書)のことです。学修や資格取得など、何らかの成果を達成したことをオンライン上で証明できます。

*2：フランス語は2027年度より開講予定

CASE 1 「とにかくアフリカのことを知りたい！」
基礎科目から選択必修科目、実践科目と経験を積む基本ケース

CASE 2 「フランス語を使ってアフリカと関わりたい」
フランス語履修後、日本アフリカ協力実践プログラムに興味を持ったケース

CASE 3 「アフリカの学生とともに学びたい」
実践を経て、2年次の秋に日本アフリカ協働実践プログラムの履修証明取得を決定したケース

実践科目対象一覧

- ・アフリカへの交換留学、一般留学
- ・アフリカに学ぶA/B (実践型プログラム)
- ・国際協働ボランティア (短期/長期)
- ・Sustainability Study on Sado Island (佐渡プロジェクト)
- ・グローバル・インターンシップ (短期) (実習先はアフリカ関連機関*に限る)

*アフリカ開発銀行アジア代表事務所、在京アフリカ各国大使館

学部・学年・専門を越えて、誰でも挑戦できる、世界と向き合う一歩を、上智から

これらの取り組みは、特定の学部や専門に限られたものではありません。文系・理系を問わず、「アフリカに関心がある」「国際協力や社会課題に関わりたい」世界とつながる学びをしたい」という意欲のあるすべての学生に開かれています。アフリカは「遠い場所」ではなく、私たちの未来と確かにつながっています。その未来を、「学び」と「行動」で切り拓く一歩を、上智大学で踏み出してみませんか。

CONTENTS 目次

Regarding items marked with “*”, there are brief explanations in English from P.59 for students in English-taught undergraduate / graduate programs.

学生留学委員会委員長からのメッセージ

Message from Chairperson of the Sophia Student Exchange Committee

巻頭特集 HOT TOPICS!

2026年度イベントカレンダー Event Calendar 2026	1
数字で見る上智大学の留学 Study Abroad at Sophia in Numbers	3
留学モデルケース Model Cases of Study Abroad	5
Q&A	7

第I部 上智大学での留学 Study Abroad from Sophia University

A. 留学を決める前に Before Deciding to Study Abroad	10
B. 留学を決めたら Preparation for Study Abroad	11
C. 情報収集 Collecting Information	12
D. 上智大学での留学の種類 Study Abroad Programs at Sophia University	15
(1) 長期留学 Long-Term Study Abroad	17
① 交換留学 Sophia Exchange Program*	
② 一般留学 General Study Abroad*	
③ 休学留学 Studying Abroad During Leave of Absence*	
④ インターンシップ科目(長期) Internship Courses (Long-Term)	
(2) 短期留学 Short-Term Study Abroad	18
① 海外短期語学講座 Short-Term Language Programs*	18
② 海外短期研修 Short-Term Study Abroad Programs*	19
③ 実践型プログラム Social Engagement Programs*	22
④ インターンシップ科目(短期) Internship Courses (Short-Term)	24

第II部 交換留学 Exchange Programs

1. 交換留学出願手続等 Application Procedures for Sophia Exchange Program*	
A. 募集時期 Application Schedule*	26
B. 出願および留学資格 Eligibility and Requirements*	27
C. その他出願の留意点 Notes of Importance*	28
D. 出願に必要な書類 Application Materials*	29
E. 選考方法 Selections*	29
F. 交換留学学内選考試験合格後の手続き Procedures After Internal Selection*	29
G. 交換留学時に見込まれる費用 Estimated Costs for Exchange Program	30
2. 目的に合わせた交換留学プログラム Exchange Programs with Specific Purposes	
A. 英語集中コース Intensive English Course	31
B. Sophia AIMS (SAIMS) プログラム	33
C. Latin America Program (LAP)	34

D. 3キャンパス枠交換留学(上智大学・西江大学・香港城市大学 3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム) Three-Campus East Asian Studies by Sophia University, Sogang University, City University of Hong Kong	35
E. 海外大学院との3+2プログラム 5-year Concurrent BA-MA Programme*	35
F. MAGIS 交換留学 MAGIS Student Exchange Program	36

第III部 大学院生の留学 Study Abroad Programs for Graduate Students

1. 在学中の留学(交換留学) Sophia Exchange Program	38
2. 海外大学院特別進学制度 Special Admission Program for Overseas Graduate Schools*	39

第IV部 長期留学に関する規則 Regulations for Long-Term Study Abroad

A. 留学の資格 Eligibility of Study Abroad	42
B. 留学の期間 Duration of Study Abroad	42
C. 留学の延長または取消し Extension or Withdrawal of Study Abroad	42
D. 留学前後の手続一覧 List of Procedures Before and After Study Abroad	43
E. 履修登録について Course Registrations	43
F. 単位換算について Credit Transfer*	44

第V部 留学に必要な準備 Preparation for Study Abroad

1. 留学中の留意点 Things to Remember During Study Abroad	
A. 危機管理 Crisis Management	49
B. 海外留学保険および危機管理サービスへの加入義務について Compulsory Study Abroad Insurance and Safety Management Service*	51
C. メンタルヘルスについて Mental Health	52
2. 留学のための英語能力試験 Language Proficiency Tests for Study Abroad	
A. TOEFL iBT® テストについて	53
B. IELTS について	54
3. 留学費用について Costs of Study Abroad	
A. 滞在費について Living Expenses	55
B. 海外勉強中の上智大学学費について Sophia Tuition During Study Abroad	55
C. 奨学金について Scholarships	56

General Information on Study Abroad for Students in English-taught Undergraduate / Graduate Programs*	59
--	----

交換留学協定校一覧 List of Exchange Partner Institutions	71
---	----

2026年度イベントカレンダー

※世界の情勢に応じて変更となる可能性があります。最新の情報はLoyola/My Sophiaや大学からのお知らせを確認

してください。

	年	2026											2027				
		学期	春学期					秋学期						春学期			
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6以降
長期留学	交換留学 SAIMS LAP 3キャンパス 英語集中コース (秋のみ) ※MAGISは スケジュール が異なります	春 (2027年2月～ 3月出発)	募集要項公開 (Loyola/My Sophia) 4月下旬 募集説明会		6月初旬 願書受付 6月下旬 面接 7月 合否発表 合格者ガイダンス						渡航前 オリエン テーション			2月～3月出発			
	秋 (2027年8月～ 9月出発)				募集要項公開 (Loyola/My Sophia) ①8月初旬 ②9月初旬 募集説明会			9月末～10月初旬願書受付 11月 面接 12月 合否発表 合格者ガイダンス							渡航前 オリエン テーション	8～9月 出発	
	春	実習(前年度募集)									申込受付・選考 履修者決定			ガイダンス・事前講義	実習		
秋	申込受付・選考 履修者決定		ガイダンス・事前講義					実習							事後講義		
短期留学	海外短期 語学講座 海外短期研修	休暇中 プログラム	4月下旬 夏期プログラム 申込受付		ガイダンス・事前講義		プログラム実施			10月中旬 春期プログラム 申込受付		ガイダンス・事前講義		プログラム実施			
	実践型 プログラム	休暇中 プログラム		5月上旬 夏期プログラム 申込受付	ガイダンス・事前講義		プログラム実施			11月上旬 春期プログラム 申込受付		ガイダンス・事前講義		プログラム実施			
	インターン シップ科目 (短期)		募集要項公開 (My Sophia)・ 申込受付		選考・ 履修者 決定	ガイダンス・ 事前講義		実習		募集要項公開 (My Sophia)・ 申込受付		選考・ 履修者 決定		ガイダンス・ 事前講義		実習	

数字で見る上智大学の留学

交換留学派遣者数：346名（2025年度）※英語集中コース、LAP、SAIMS等のプログラム含む



上智大学では、毎年多くの学生が交換留学制度を利用して長期間の留学に飛び立っています。協定校も全世界に幅広く広がっているため、学生それぞれのレベルや目的に応じて留学先を選択することが可能です。

※2020、2021年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、留学派遣者数は大幅に減少しました。



海外短期語学講座参加者数：278名（2025年度）



海外短期研修参加者数：139名（2025年度）



実践型プログラム参加者数：191名（2025年度）



インターンシップ科目（短期）参加者数：21名（2025年度）

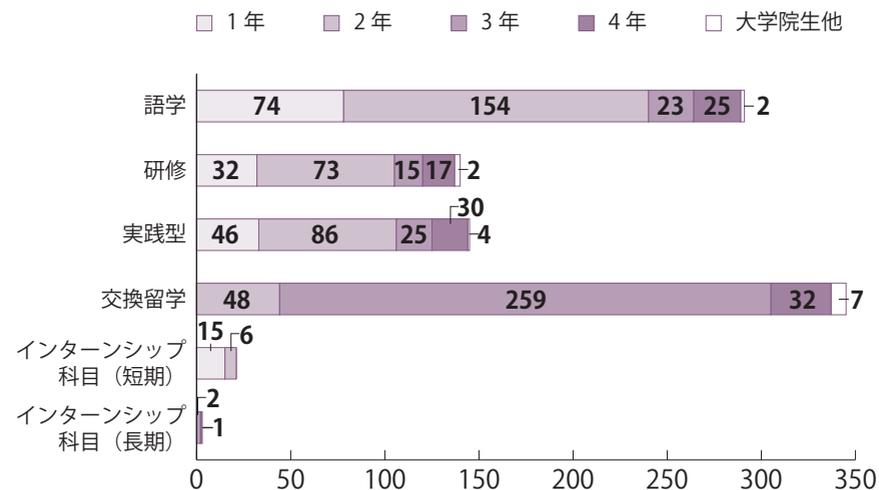


インターンシップ科目（長期）参加者数：3名（2025年度）

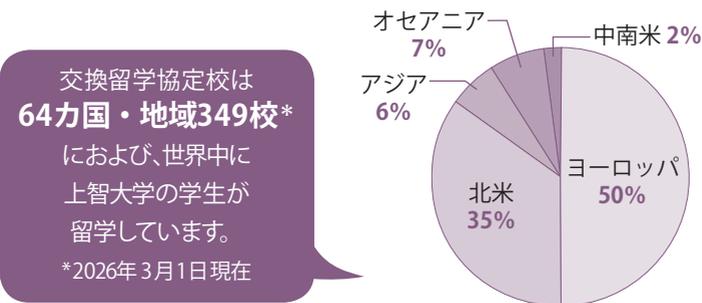


上記留学プログラムの他、ドイツ語学科・ドイツ文学科在外履修制度により海外で学ぶ学生もいます。また、海外の大学の授業とオンラインで連携するCOIL型授業でも、多くの学生が授業内で海外の学生と協働学習しています。

留学年次（2025年度）

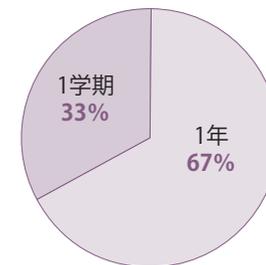


留学地域（2025年度）※交換留学



交換留学協定校は64カ国・地域349校*
 により、世界中に上智大学の学生が留学しています。
 *2026年3月1日現在

留学期間（2025年度）※交換留学



留学モデルケース

春：春学期 秋：秋学期

◆3年次春学期から交換留学（1学期間） ①>交換留学に参加したいけれど、4年間での卒業を考えており、3年次秋は国内で

情報収集（留学ガイダンス・留学フェア等）	3年次春から1学期間の交換留学を決定！	交換留学学内選考	渡航に向けた準備
→交換留学に行ってみよう、1年・2年次は上智大学での学びも重視したい →現段階ではまだ留学に行くか迷っている	・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討 ・必修科目の単位を着実に修得 ・留学準備講座の履修等	出願・面接→合格	・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学先言語で開講される上智の科目履修
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

◆短期プログラム+3年次秋学期から交換留学（1年間） ②>短期留学と長期留学、両方経験してみたい

情報収集（留学ガイダンス・留学フェア等）	海外短期語学講座（英語圏）へ参加	3年次秋から1年間の交換留学を決定！	交換留学学内選考
→短期留学、交換留学両方に行ってみよう	→初めての海外での学び →より長い期間滞在したいと思った	・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討 ・留学準備講座の履修等	出願・面接→合格
春	秋（春期休暇中）	春	秋
1年次		2年次	

◆SAIMS/LAP+交換留学 ③>特殊な交換留学プログラムに興味がある ④>2回交換留学してみたい（*）

情報収集（留学ガイダンス・留学フェア等）	交換留学（SAIMS）学内選考	渡航に向けた準備	1学期間のSAIMS留学へ！
→早い段階で交換留学に行ってみよう →特殊な交換留学プログラムに参加してみよう 2年次秋から1学期間の交換留学（SAIMS）を決定！ ・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	出願・面接→合格	・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・SAIMSで上智に交換留学中の学生との交流 ・事前履修推奨科目の受講 ・留学準備講座の履修等	（8-9月出発 →12-1月頃帰国） ・東南アジアの言語、文化、経済などを学ぶ →帰国後、もう一度、別の留学先へ交換留学してみよう
春	秋	春	秋
1年次		2年次	

*通常、交換留学は在学中1人1回のみ参加可能ですが、以下のようにプログラムを組み合わせる場合は、最大2回まで
①LAP+交換留学 ②SAIMS+交換留学 ③SAIMS+LAP

◆短期プログラム+インターンシップ（短期）+交換留学 ⑤>将来は国際公務員を目指しており、大学でのプログラムを活

情報収集（留学ガイダンス・留学フェア等）	国連集中研修に参加	国際協力に関する講義を履修し学びを深める	交換留学学内選考
→大学のプログラムを思う存分活用し、卒業後の進路を見据えて計画したい →履修計画と留学計画を綿密にリンクさせ、学びを深めたい		グローバルインターンシップ（短期）国際協力分野出願・合格・履修 ・実習先に関する情報収集 ・事前・事後講義に参加 ・駐日大使館でインターン	出願・面接→合格
春	秋（春期休暇中）	春（夏期休暇中）	秋
1年次		2年次	

ここに掲載されたモデルケースはあくまで一例ですので、留学の種類やタイミング、留学期間については各自の状況

就職活動をしたい ⑥>必修も多く卒業論文も必須の学科。留学も上智大学での授業履修も両方重視したい。

1学期間の交換留学へ！		卒業論文完成
（2-3月頃出発 →6月頃帰国） ・帰国後、就職活動開始 ・卒業までの履修計画を検討	・企業の説明会やインターンに参加 ・卒業に必要な単位を修得	→卒業
春	秋	春秋
3年次		4年次

⑦>長期留学の前に、短期留学で自信をつけたい

渡航に向けた準備	1年間の交換留学へ！	帰国（5-6月頃）	卒業論文完成
・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集	（8-9月頃出発）	→卒業を1年のばし、余裕をもって就職活動や卒業論文を作成することを決意	内定 →卒業
春	秋	春	秋
3年次		4年次	
		5年目	

4年次春から1学期間の交換留学を決定！	渡航に向けた準備	1学期間の交換留学へ！	
・TOEFL iBT®等、語学の勉強 ・留学先大学の検討	・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学先言語で開講される上智の科目履修	（2-3月頃出発 →6月頃帰国） ・今度はオセアニアに留学し、専門科目を中心に学ぶ	・帰国後、すぐに就職活動開始 ・卒業に必要な単位を修得 →卒業
春	秋	春	秋
3年次		4年次	

参加することができます。ただし、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。

用いて夢を叶えたい ⑧>国際関係、国際協力分野に興味があり、交換留学にもインターンシップにも参加してみたい

国際協力に関する講義を履修し学びを深める	1年間の交換留学へ！	帰国（5-6月頃）後、就職活動	グローバルインターンシップ（長期）履修	卒業後…
渡航に向けた準備 ・オリエンテーション ・先輩・留学先からの情報収集 ・留学準備講座の履修等	（8-9月頃出発） ・国際協力・開発に関する科目を中心に履修	→就活を通して、企業活動を通じた国際貢献に関心をもつ 「グローバルインターンシップ（長期）」出願・合格・履修	独立行政法人でインターン 卒業前に、企業の海外展開のあり方を学ぶ	企業で職務経験を積んだあと、海外の大学院へ進学したい 国際公務員を目指したい
春	秋	春	秋	
3年次		4年次		

に合わせて計画を立てましょう。各留学プログラムの詳細はP.15をご覧ください。

Q & A

ここでは、留学についてよくある質問をまとめています。
まずはこのページを読んで確認をしてください。

1. 留学全般について

Questions	Answers
留学にはどのような種類がありますか？	留学は大きく分けて、 <u>長期留学</u> （1学期または1年間）と <u>短期留学</u> （長期休暇期間を利用した数週間程度の短期プログラム）があります。また、長期留学には、 <u>交換留学</u> と <u>私費留学</u> （ <u>一般留学・休学留学</u> ）があります。種類により、選考手続き、単位換算の有無、4年間での卒業が可能かどうか等が変わりますので、比較検討してみてください。（詳細はP.15～へ）
留学についての情報はどこで入手できますか？	上智大学の留学プログラムについては、主に「PROGRAM GUIDE」と本冊子「留学ハンドブック」（My Sophiaからダウンロード可）を参照してください。また、各プログラムの出願要件や情報、先輩学生の留学体験レポートは、Loyola「 <u>留学関連情報</u> 」またはMy Sophia（グローバル教育センター）に随時掲載しています。 どの大学でどのような分野の勉強ができるかは各大学の公式サイトで確認してください。 留学に関する一般的な情報は、各国大使館や学外団体のWebサイト等（P.14記載）も参考になりますので、見るようにしましょう。
留学に行きたいのですが、どこから準備を始めたらいかがわかりません。	留学準備の初期段階にいる皆さんは、留学カウンセリング制度をぜひご利用ください。留学に関する様々な相談ができます。（詳細はP.12へ） また、各種プログラムの出願に関する詳細についてはグローバル教育センター窓口でも随時受け付けています。 語学力に不安がある場合は、英語学習アドバイザーも活用しましょう。
留学についての説明会はいつ実施していますか？	上智大学の留学プログラム全体についての説明会は、各学期の初め（4月上旬、9月下旬）に実施しています。また、交換留学や短期・実践型プログラムについては、募集前に説明会を別途開催しています。開催日時については、随時My SophiaやX等でご案内しますので確認してください。

2. 交換留学について

Questions	Answers
交換留学に行くための条件は？	GPAが2.8以上あること、留学を希望する大学の語学要件等を満たすこと、学科長・保証人の承諾があること、心身ともに健康であること、が最低限の条件となります。 詳細は「第Ⅱ部 交換留学」（P.26～）の頁を参照してください。 各協定校の語学要件は、Loyola「 <u>留学関連情報</u> 」にて過年度の情報を参照してください。
交換留学先大学で取得した単位は、卒業に必要な単位として換算されますか？	留学先で取得した単位は上限30単位まで換算することができますが、履修した全ての科目について認められるわけではありません。留学から卒業までの計画や単位換算が可能な科目内容については事前に所属学科に相談をしてください。ただし、実際に何単位換算されるかは帰国後に所定の手続きを経たうえで決定されます。 （詳細はP.44～へ）
出発前に受入留学生と交流できる機会や、帰国後学内でできる活動はありますか？	例えば、第2クォーターの期間中に海外からの大学生を対象としたサマーセッションが上智大学内で開講されます。世界中からの留学生と一緒に日本の文化、経済、政治、社会について学ぶことができます。サマーセッションは第2クォーター開始前に特別な履修登録期間が設けられます。 詳細は4月以降にMy Sophiaを確認してください。 この他、海外からの交換留学生をサポートするボランティア活動に参加することもできます。登録はグローバル教育センター窓口で受け付けています。
留学のための奨学金はありますか？	学内の奨学金や日本学生支援機構の奨学金等、様々な奨学金があります。家計基準や留学先等で条件が異なりますので、詳細を確認のうえ出願してください。（P.56～参照）
留学すると就職活動にどのように影響しますか？	就職活動の時期等は、キャリアセンターにご相談ください。（P.13参照）

※My Sophiaは「学び・教育」にグローバル教育センターの情報が 있습니다。



第 I 部 | 上智大学での留学

part1. Study Abroad from Sophia University

大学の海外渡航方針

【海外渡航条件について】

上智大学では、学生の皆さんの安全を最優先事項とし、大学の各種プログラム、私費留学、フィールドワークや課外活動のいずれにおいても以下の条件を定めています。

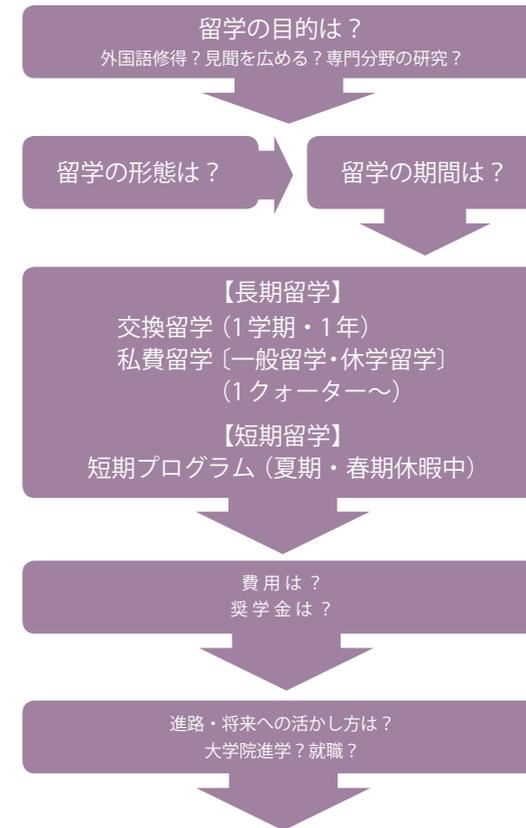
《海外への渡航が許可される最低限の条件》

- ・外務省の海外安全・感染症危険レベルが1以下であること (P.49～も参照)
- ・渡航予定の国において日本からの入国・滞在制限がなく、渡航に支障がないこと
- ・信頼できる受入先があり、留学先大学から受入の許可が出ること (留学・海外勉学の場合)
- ・渡航に際して上智大学から許可を得られること

このハンドブックに記載されている各種プログラムやスケジュールは、年度当初の予定で記載されており、今後の状況によって変更が生じる可能性があります。そのため、必ずご自身で最新の情報を My Sophia、WEB PILOTI、ガイドンス等で確認してください。

A 留学を決める前に

留学には様々な形態や期間のものがあります。決める前に自分の優先順位を整理してみましょう。



留学の形態や内容により、本学での単位換算の可否や留学期間の修業年限への算入の可否が異なります。また、留学中の授業料や生活費など経済的な準備も欠かせません。留学時期によっては、就職活動と留学期間が重なったり卒業時期が延びたりする場合がありますが、様々な選択肢や機会を活用することで、十分に有意義な学生生活を送ることができます。

留学に行くことで想定される様々なケースについて熟考し、海外に行くことを決断する前に、もう一度「いつ、何をどんなふうにも勉強したいか」と「留学経験をその後どのように活かしていきたいか」等、自身のキャリアプランを描き、判断してください。

B 留学を決めたら

留学することを決めたら、準備や手続きの確認に入りましょう。海外の学校への出願やビザの取得など、留学手続きには思っている以上に時間と労力がかかります。留学を決意したら、希望留学先への入学時期などを調べ、逆算してスケジュールを立ててください。プログラムの形態にもよりますが、長期で留学する場合、出願資格を満たすための語学試験受験のため、出発の1年半～2年前くらいから準備する必要があります。春期・夏期休暇中のプログラム参加にも、約4カ月前の申込が必要です。

準備 出発の1年半～2年前

Step 1：留学形態の決定

- 留学の目的を明確化・留学形態の決定
- 申込時期の確認
- 十分な資金があるか家族に相談、奨学金情報の収集
- 卒業時期はどうするか、留学と将来の関連性を考える

P.1-2に2026年度にグローバル教育センターで取り扱っている各種プログラムのスケジュールを掲載しています

Step 2：留学先選択

- 一般的な留学情報や希望する国・地域、大学の情報収集
- 希望留学先の絞り込み
- 出願条件確認、語学試験の受験
- (私費留学) 留学先の申込書類取り寄せ
- (交換留学、一般留学) 所属学科長に相談

Step 3：出願

- (交換留学) 出発の概ね1年前に学内選考出願
- 願書その他必要書類を締切りまでに留学先大学へ送付

Step 4：留学先大学への入学手続き

- パスポート取得、期限確認
- 入学許可書類の受け取り
- 宿舍手配
- 諸費用の支払い

Step 5：渡航準備

- 予防接種
- ビザ取得
- 航空券・上智大学指定海外留学保険・危機管理サービスの加入手配
- 「留学願(交換留学・一般留学)」「休学願(海外勉学)」等を上智大学に提出

出発

C 情報収集

[学内での情報収集]

海外留学の実現には、まず手続きの流れや必要な要件、資料等の情報収集が欠かせません。留学準備のための情報収集手段として、学内では下記の窓口等にてサポートを行っています。(窓口時間は変更の可能性があります。最新の情報を随時My Sophia、大学のHPで確認してください。)

(1) グローバル教育センター

窓口時間内にいつでも相談できますので、質問のある場合には、気軽にお問合せください。

交換留学(派遣・受入)、3+2プログラム、海外大学院特別進学制度
海外短期プログラム(語学講座・短期研修・実践型プログラム)
留学カウンセリング、上智大学海外渡航支援制度、その他国際交流プログラム
インターンシップ科目
グローバル教育センター開講科目
Sophia Short-term Programs (Summer Session 等)

(2) My Sophia・Loyola

交換留学・短期プログラムの帰国レポートや募集要項、交換留学協定校のInformation Sheetなどを確認することができます。

- ・Loyola > 留学関連情報 ※交換留学はこちら
- ・My Sophia > 学び・教育 > グローバル教育センター > ファイル共有
- ・My Sophia > 大学からのお知らせ > 留学・国際交流

(3) 留学カウンセリング制度

留学に関するあらゆる質問に専門の留学カウンセラーがお答えします。特に、一般留学や休学留学など、自身で一から情報収集する必要のある留学制度を利用する学生にお薦めしています。

予約・問合せは以下のメールアドレス・QRコードまで。

goabroad-ofc@sophia.ac.jp



〈カウンセリング時間枠〉月～金(祝日、大学の休日を除く)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| ① 10:30 - 11:00 (30分) | ④ 14:30 - 15:00 (30分) |
| ② 12:40 - 13:20 (40分) *グループ相談可 | ⑤ 15:25 - 15:55 (30分) |
| ③ 13:45 - 14:15 (30分) | ⑥ 16:05 - 16:35 (30分) |

※予約優先ですが、空きがあれば随時対応します。最新の情報は、グローバル教育センター窓口またはグローバル教育センターXで確認してください。

(4) キャリアセンター

キャリアセンターでは、就職活動や進路に関する様々な相談を受け付けています。個別相談は、例年約4,000人の学生が利用しています。簡単な質問であれば窓口でも対応しています。

留学と就職の関連など、気になることがあればキャリアセンターにお問い合わせください。

キャリアセンター 開室時間： 月～金 9：30～17：00
(11：30～12：30は資料閲覧のみ)
※授業期間外は変更あり

また、留学を検討している／留学が決まっている／語学力や留学経験を活かしてグローバルに活躍したいと考えている学生の皆さんを対象に、以下の就職支援プログラムを開催しています。

- ・〈留学検討者対象〉就職活動ガイダンス
- ・留学と就職活動：内定者アドバイス会
- ・海外キャリアフォーラムガイダンス
- ・英語によるキャリアフェア
- ・語学力を活かして働く卒業生に仕事や働き方についてお話しをもらうセミナー等

プログラムの開催日程・詳細や個別相談の申し込み方法は、My Sophiaの「キャリア」メニューにて「国際派就職・帰国学生向け情報」ページで確認してください。

[学外での情報収集]

留学準備

学外における情報収集の一例として、下記のサイトを見てもみるのも良いでしょう。

	内容	URL
独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)	主要国全般および留学基本情報	https://ryugaku.jasso.go.jp/
文部科学省 トビタテ！留学JAPAN	留学に関わる奨学金、留学準備・体験談、留学後の就職についてなど	https://www.tobitate-mext.jasso.go.jp/
一般社団法人 留学サービス審査機構	第三者団体から認証を受けた留学サービス事業者の確認が可能	https://www.jcross.or.jp/

海外安全情報

海外渡航にあたる危機管理のために十分に確認するようにしましょう。

発信元	ウェブサイト名	URL
外務省	海外安全ホームページ	https://www.anzen.mofa.go.jp/
	海外安全クイズ	https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/quiz/index.html
	海外安全 虎の巻	https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf
	国・地域別 安全の手引き	https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/safety_guidance.html
	海外安全アプリ	https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html
	海外における薬物犯罪	https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_yakubutsuchui.html
	海外における性的被害	https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/women_damage.html
	海外安全チャンネル・りよーあん	https://voicy.jp/channel/3321
	海外法人事件簿	https://www.anzen.mofa.go.jp/jikenbo/jiken_index.html
厚労省	海外へ渡航される皆様へ	https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou18/index_00003.html
SAY!NO!	SAY! NO! 留学セクハラにノーを!	https://sayno-ryugaku.com/
	海外留学 健康の手引き	https://plaza.umin.ac.jp/~health-uv/kanren/img/ryugaku_kenko_5v2.pdf

D 上智大学での留学の種類

学部生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分 (学籍上の扱い) /4年間での卒業	人数 (2025年度)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定の ある大学	1年 または1学期	個人/ 入学許可取得に係る手 続きはグ ローバル教育セ ンターの補助あり	** 上智大学に のみ納入	30単位まで 認定可能	留学/可	323	P.26
交換留学 (SAIMS)	本学指定のアジア の協定校	1学期					0	P.33
交換留学 (LAP)	本学指定の中南米 の協定校	1年 または1学期					3	P.34
交換留学 (3キャンパス)	西江大学、 香港城市大学	各大学1学期、 計1年					1	P.35
交換留学 (MAGIS)	MAGISコンソー シアム加盟校	1学期					0	P.36
交換留学 (英語集中 コース)	本学指定の協定校	1学期					原則、語学 科目として認定 可能	19
一般留学	学位授与権があり、 事前に学科長が許可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学および留学先 大学に納入	30単位まで 認定可能	留学/～1年 留学の場合可	5	P.17
海外短期 語学講座	協定校等が主催する 本学指定の講座	3週間～5週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル 教育 センター	実費要	語学科目として 単位付与可能	在学のまま/ 可	278	P.18
海外短期 研修	協定校等にて実施 する本学指定の研 修	2週間～6週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル 教育 センター (選考あり)		全学共通科目 (選択科目)ま たは学科科目 として単位付 与・認定可能 (※1)		139	P.19
実践型 プログラム	協定校等と実施す る本学指定のプロ グラム	1週間～2週間 (夏期・春期休暇中)			全学共通科目 (選択科目)の 単位付与可能		191	P.22
インター シップ科目 (長期)	本学と協定のある 実習先	3～5ヶ月 (春・秋学期中)	グローバル 教育 センター (選考あり)		6単位(全学共 通科目)		3	P.17
インター シップ科目 (短期)	本学と協定のある 実習先	2～6週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル 教育 センター (選考あり)	2単位(全学共 通科目)	21	P.24		
休学による 海外勉学	個人が決定。ただし、 学科長の指導要。		個人で行う	上智大学学 費は減免措 置あり	不可	休学/不可	156	P.17

※1: 科目の開講元や学生の所属により、認定できる区分が異なるので、履修要覧や各プログラムの案内をよく確認すること。

大学院生

本学での名称	留学先	期間	諸手続き	*学費	単位の換算	留学中の身分 (学籍上の扱い)	参照ページ
交換留学	本学と交換協定の ある大学	1年 または1学期	個人/ 入学許可取得に係る手 続きはグ ローバル教育セ ンターの補助あり (学内選考あり)	** 上智大学に のみ納入	大学院での 修得単位は 10単位まで 認定可能 (学部科目は 認定不可)	留学	P.26/ P.38
交換留学 (LAP)	本学指定の中南米の 協定校						P.34
一般留学	学位授与権があり、 事前に専攻主任が許 可した大学	1クォーター～2年	個人で行う	上智大学お よび留学先 大学に納入			P.17
海外短期 語学講座	協定校等にて実施す る本学指定の講座	3週間～5週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル教育 センター(※1)	実費要	不可	在学のまま	P.18
海外短期 研修	協定校等にて実施す る本学指定の研修	1週間～6週間 (夏期・春期休暇中)	グローバル教育 センター (選考あり)		理工学専攻開 講科目のみ可		P.19
実践型 プログラム	協定校等と実施す る本学指定のプロ グラム	1週間～2週間 (夏期・春期休暇中)			国際協力学専 攻開講科目の み可(※2)		P.22
休学による 海外勉学	個人が決定。ただし、 専攻での指導要。		個人で行う	上智大学学 費は減免措 置あり	不可	休学	P.17

※1: ただし応募人数多数の場合には学部生が優先となる。

※2: 他研究科・他専攻の学生もプログラムへの参加は可。他研究科の学生は、履修登録時に指導教員・専攻主任の許可を得て自専攻の修了単位に認定する手続きをとれば修了単位に算入できる。

上記の他、インターンシップ科目については、実習先により大学院生の参加が認められるプログラムがあります。大学院生で参加を希望する場合は、事前に相談すること。

* 本学学費の詳細については、本学公式HPの学費に関するページを参照。

** 協定校により、留学生として必要な登録費や保険料等は別途必要となります。



(1) 長期留学

①**交換留学** 対象：2年次以上 (P.26 第Ⅱ部「交換留学」を参照ください。)

②**一般留学** 対象：2年次以上

学位授与権のある大学に、事前に所属学部長・学科長の許可を受けて留学するものです。留学先は自由によりますが、留学手続きはすべて個人で行い、学費も本学と留学先大学の双方に納入する必要があります。協定校以外の大学については、各国の留学情報を提供する機関の情報を利用するとよいでしょう。学位授与権のある大学であっても、大学付属のセンター等が提供する単位の付与されない語学プログラムや大学を会場としているだけの公開講座などは対象となりません。また、語学学校等の専門学校は原則として一般留学の対象になりません。特に、大学の関連機関が実施する授業等、大学併設であっても、大学の授業との分別が難しい場合があります。留学前に履修を希望するプログラムや科目等の詳細について、あらかじめ関連資料を持参のうえ、質問・相談内容に応じて、所属学部長、学事センター、グローバル教育センターに確認するようにしてください。万が一、予定していた一般留学を休学留学に変更する場合は、当該クォーター開始前日までに復学届を提出し、期日までに休学願を提出する必要があります。

留学先の選定や履修計画に関する質問・相談：所属学科
単位換算、一般留学願提出に関する質問・相談：学事センター
一般留学の制度に関する質問・相談：グローバル教育センター

③**休学留学** 対象：全年次

本学を休学して海外勉学するもので、留学先の制限はありません。休学期間の授業料は減額されますが、休学期間は修業年限に算入されないため、4年間で卒業することはできません。本学休学中に留学先で単位を取得しても、本学での単位認定はできません。

④**インターンシップ科目(長期)** 対象：3年次以上(実習先により異なる)

上智大学と協定を結んだ国際機関・協力団体、グローバル企業、駐日各国大使館等において3～5カ月インターンシップ(就業体験)をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目(選択科目)の単位が付与されます。学生は、グローバルビジネスや国際協力の現場に身を置くことで、その構造、意義、課題を認識し、当該分野への理解を深め、実践的な課題解決能力を身につけることができます。長期におよぶインターンシップの現場では、常に主体的、積極的に学ぶ姿勢が求められ、座学だけでは身につけることが難しい経験を得ることができます。インターンシップ科目(長期)は春・秋学期中にそれぞれ設定されています。募集の詳細はMy Sophiaを確認してください。

・対象科目：「Sophia GED グローバルインターンシップ」
「グローバルインターンシップ(長期)」

(2) 短期留学

短期留学は、夏期・春期休暇期間中に実施するもので、「海外短期語学講座」「海外短期研修」「実践型プログラム」「インターンシップ科目(短期)」の4カテゴリーに分かれます。

①海外短期語学講座

本学の交換留学協定校等の付属語学学校が主催する語学講座に参加し、語学力向上を図るプログラムです。

各プログラムは本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、留学先で所定の成果を修めた者には、語学科目の該当言語科目2単位が付与されます。付与単位の評価は“P”となります。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認してください。大学院生も参加ができますが、付与される単位は修了要件には含まれません。

夏期休暇中開講

■募集説明会：4月上旬～中旬

■申込受付期間：2026年4月下旬 ※正式な日程はMy Sophiaをご確認ください。

■コース一覧

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。
※付与単位数はいずれも2単位です。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) /滞在形態	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	8月8日～9月5日(4週間)	99	14
			ホームステイ		
ノースカロライナ大学 シャーロット校	アメリカ	英語	8月25日～9月12日(4週間)	101	9
			ホテル		
ブリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	8月5日～8月29日(3週間)	93	20
			ホームステイ		
マギル大学	カナダ	英語	8月4日～8月22日(3週間)	113	17
			学生寮		
マンチェスター大学	イギリス	英語	8月11日～9月5日(4週間)	85	20
			学生寮		
オークランド大学	ニュージーランド	英語	8月11日～9月5日(4週間)	76	20
			ホームステイ		
フライブルク大学	ドイツ	ドイツ語	8月5日～8月28日(3週間)	64	10
			学生寮		
マリイ・ルイ・パスツール大学	フランス	フランス語	8月4日～8月29日(4週間)	70	8
			ホームステイ		
コインブラ大学	ポルトガル	ポルトガル語	8月25日～9月12日(3週間)	69	15
			ホテル		
香港中文大学	中国	中国語 (北京語)	8月5日～8月23日(3週間)	29	2
			学生寮		

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) / 滞在形態	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)
延世大学	韓国	コリア語	8月5日～8月26日(3週間) ホテル	42	18

※1 交換協定に基づき実施されるため授業料は免除。

春期休暇中開講

■募集説明会：10月上旬

■申込受付期間：2026年10月中旬 ※正式な日程はMy Sophiaをご確認ください。

■コース一覧

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。
※付与単位数はいずれも2単位です。

大学名	国名	学習言語 (単位付与領域)	授業期間(前回実績) / 滞在形態	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)
カリフォルニア大学 デービス校	アメリカ	英語	2月13日～3月13日(4週間) ホームステイ	99	11
ブリティッシュ・ コロンビア大学	カナダ	英語	2月23日～3月20日(4週間) ホームステイ	91	15
マギル大学	カナダ	英語	2月24日～3月21日(4週間) ホームステイ	91	12
ウーロンゴン大学	オーストラリア	英語	2月23日～3月20日(4週間) ホームステイ	68	18
クイーンズランド大学	オーストラリア	英語	2月16日～3月20日(5週間) ホームステイ	80	17
オークランド大学	ニュージーランド	英語	2月9日～3月6日(4週間) ホームステイ	80	12
オタゴ大学	ニュージーランド	英語	2月19日～3月20日(4週間) ホームステイ	78	11
アンジェ西カトリック大学	フランス	フランス語	2月9日～3月6日(4週間) ホームステイ	79	14
バルセロナ自治大学	スペイン	スペイン語	2月2日～2月27日(4週間) ホームステイ	63	9
オーストラリア・カトリック大学 ローマキャンパス	イタリア	イタリア語	2月2日～2月27日(4週間) 学生寮	79	6
北京大学	中国	中国語	2月23日～3月20日(4週間) ホテル	60	催行中止
韓国外国語大学	韓国	コリア語	3月5日～3月24日(4週間) ホテル	41	催行なし

②海外短期研修

海外の名門大学で実施される短期プログラムにおいて、外国語で専門科目を学びます。各プログラムで必要とされる語学能力が定められています。
海外短期研修には、(a) 修得した単位を単位換算手続きにより本学の修得単位として認定するもの(認定単位の評価は“N”) (b) 本学の開講科目として取り扱い、プログラム修了者に単位が付与されるもの(付与単位の評価は“P”)の2種類があ

ります(大学名欄の記載参照)。認定・付与単位数はプログラムにより異なります。大学院生も参加ができますが、付与される単位は修了要件に含まれません(ワルシャワ工科大学を除く)。

夏期休暇中開講

■募集説明会：4月上旬～中旬

■申込受付期間：2026年4月下旬 ※正式な日程はMy Sophiaをご確認ください。

※トリア大学・ミュンヘン大学については、ドイツ語学科事務室に問い合わせください。

■コース一覧

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	使用言語	授業期間(前回実績) / 滞在形態	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)	語学要件
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 (a)	アメリカ	英語	8月4日～9月12日(5週間) 学生寮	132～	2	有
UCLA Summer Sessions (Section C) -UCLA 正規生も受講するサマーセッション。 注) 帰国後の認定単位数は履修科目により異なる。						
カリフォルニア大学 デービス校 (b)	アメリカ	英語	8月8日～9月5日(4週間) ホームステイ	98	15	無
理工学生に求められる英語スキルの向上を含め、科学技術のホットトピック・異文化間研究プロジェクト・理工分野における起業家精神などを学ぶプログラム。理工共通1群。選択必修科目。 【付与単位】2単位						
ノートルダム大学 (b)	アメリカ	英語	8月4日～8月15日(2週間) ホテルまたはホームステイ	41	1	無
《理工学部生対象》米国のノートルダム大学とのジョイントプログラム。現地学生と共に企業とのリサーチプロジェクトに参加する等、実践的な学術交流と文化交流を通じて異文化理解力やコミュニケーション能力の向上を目指す。ノートルダム大学の学生が上智に来て実施する国内パートと、ノートルダム大学で行われる海外パートの両方への参加が求められる。 【付与単位】2単位 ※上記金額に加え航空券代が別途発生						
ロンドン大学SOAS (b)	イギリス	英語	8月18日～9月5日(3週間) 学生寮	103	13	有
メディア入門/国際関係論いずれかのコースを選択の上受講する。時事問題をトピックとして、日々の多数の文献を読む機会やグループディスカッション、最終日にはグループ別のプロジェクト制作が設けられており、速読力や発信力等の高度な英語運用能力習得を目的とする。【付与単位】4単位						
オックスフォード大学 (b)	イギリス	英語	8月24日～9月5日(2週間) 学生寮	99	19	有
英国政治・メディアコース/文学コースが用意され、基礎を学ぶ講義と、グループディスカッションが行われるセミナー、ワークショップのモジュールで構成される。担当教授とのディスカッションやフィードバックを通じてエッセイやプレゼンテーションを作成する等、オックスフォード大学ならではの教育カリキュラムの元で学ぶ。キャンパス内でのフォーマルディナー等の文化体験も多数実施される。【付与単位】2単位						
ビクトリア大学 (b)	カナダ	英語	8月4日～8月22日(3週間) 学生寮	109	5	有
Business Communication, Business Managementの2つのモジュールで構成されるプログラムに参加する。座学でビジネスの基礎知識を学ぶほか、グループワークやプレゼンテーションなどを通じて、実践的なプレゼンスキルやコミュニケーションスキルの向上を目指す。プログラム期間中は、に参加する日本・他国からの学生とともにビクトリア大学内の学生寮で共同生活を送る。【付与単位】4単位						

大学名	国名	使用言語	授業期間(前回実績) /滞形態	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)	語学要件
教皇立ハベリアナ大学 (b)	コロンビア	イスパニア語	8月11日～9月5日(3週間)	72	5	有
			ホームステイ			
《イスパニア語既修者対象》より高度なイスパニア語運用能力の習得を目的としたプログラム。コロンビア滞在中はイスパニア語学習に加えて、ハベリアナ大学の学生との交流や学外宿泊研修、ホームステイなどの経験を通してコロンビアの文化や社会の理解を深める。【付与単位】2単位						
トリア大学 (b)	ドイツ	ドイツ語	8月4日～8月29日(4週間)	23	2	—
			学生寮			
《ドイツ語学科3・4年次生対象》ドイツ語の読解、聴解、会話、記述能力の向上を目的とする。 (問い合わせ先:ドイツ語学科事務室)【付与単位】2単位						
ミュンヘン大学 (b)	ドイツ	ドイツ語	8月4日～8月27日(4週間)	21	新規開講	—
			学生寮			
《ドイツ語学科3・4年次生対象》ドイツ語の読解、聴解、会話、記述能力の向上を目的とする。 (問い合わせ先:ドイツ語学科事務室)【付与単位】2単位						
ワルシャワ工科大学 (※)	ポーランド	英語	9月9日～9月12日(1週間)	26	催行なし	無
			ホームステイ			
《理工学研究科の修士課程1・2年次生対象》航空機工学を受講するプログラム。 (問い合わせ先:理工学研究科機械工学領域事務室) ※科目名「機械工学応用」として開講し、成績評価は通常通り						

大学名	国名	使用言語	授業期間(前回実績) /滞形態	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)	語学要件
ESSCA (a)	ハンガリー	英語	2月2日～3月13日(6週間)	52*	11	有
			学生寮			
フランスの優れた高等教育機関として認識される「グランゼコール」のひとつであるESSCAのブダペストキャンパスでCross-Cultural ManagementやBusiness Communicationなどの欧州ビジネスを中心に、ハンガリーの文化や歴史などを学ぶ。希望者はビジネス英語講座の受講も可能。 *交換協定に基づき実施されるため授業料が免除された費用。 帰国後の認定単位数は履修科目によって異なる。						
デウスト大学 (b)	スペイン	イスパニア語	2月9日～3月6日(4週間)	82	12	有
			ホームステイ			
イスパニア語既修者対象。デウスト大学で学部・大学院の留学生全てにイスパニア語授業を提供するInternational Spanish Center (CIDE) が提供する、語学授業とスペイン・バスク文化の授業で構成されたプログラム。授業やホームステイを通じてバスク文化を体験しながらイスパニア語力の向上を図る。【付与単位】2単位						
タリン大学 (b)	エストニア	ロシア語	新規開講(2月予定)	未定	新規開講	有
			学生寮			
上智大学生向けにタリン大学において実施される、ロシア語の4技能およびディスカッション能力の向上を目的とした実践的プログラム。現地滞在中にはロシア語母語話者であるタリン大学の学生との交流や、エストニア在住ロシア語話者コミュニティおよび同国におけるロシア文化について理解を深める機会が提供されるほか、追加申込により各種ツアーにも参加可能。【付与単位】2単位						

春期休暇中開講

■募集説明会：10月上旬

■申込受付期間：2026年10月中旬 ※正式な日程はMy Sophiaをご確認ください。

■コース一覧

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

大学名	国名	使用言語	授業期間(前回実績) /滞形態	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)	語学要件
ノースカロライナ大学 シャーロット校 (b)	アメリカ	英語	2月16日～3月6日(3週間)	98	20	無
			ホテル			
理工分野に焦点を当てた英語の学習やシャーロット地域の企業を訪問し、実践的な講義や活動に参加する。ペンバルプログラムで日本語を学ぶUNCCの学生とペアを組み、プログラム期間中に交流することができる。理工共通1群。選択必修科目。【付与単位】2単位						
西オーストラリア大学 (b)	オーストラリア	英語	2月2日～2月20日(3週間)	86	26	無
			ホームステイ			
上智大学のためにカスタマイズされた英語と法学の理解を深めるためのスタディーーツアッププログラム。オーストラリアの法制度について、座学と司法機関見学などのフォールトリップを通じて学ぶ。法律知識の向上を図る他、オーストラリアの文化や自然に触れることができる多彩なアクティビティが用意されている。【付与単位】4単位						
パリ政治学院 (b)	フランス	英語	3月2日～3月20日(3週間)	95	8	有
			アパートメントホテル			
政治学分野で世界トップレベルのパリ政治学院が提供する「Japan Spring School」に日本の他大学の学生と共に参加。コア科目では欧州の政治史や経済・環境関するトピックスを、専門科目ではEUと世界の結びつきやEU政策などを選択制で学ぶ。欧州議会などを見学する2日間のブリュッセル研修も組み込まれている。希望者はフランス語講座も受講可。【付与単位】4単位						

③実践型プログラム

海外、または国内においてフィールドワークや現地での人々との対話等の体験を通じて実践的に学ぶプログラムです。現地研修前の事前講義への参加が必須となっており、必要な予備知識をつけたうえで現地研修に臨みます。

各プログラムは、本学の開講科目として取り扱われ、事前指導に全て参加し、現地研修において所定の成果を修めた者には、全学共通科目(選択科目)として単位が付与されます。付与単位の評価は「P」となります。大学院生の参加可否、単位の取り扱いについては各プログラムの募集要項を確認してください。

【夏期休暇中実施プログラム】募集説明会：4月、申込受付：5月上旬

【春期休暇中実施プログラム】募集説明会：10月、申込受付：11月上旬

各プログラムの参加条件、申込方法等詳細についてはMy Sophiaを確認してください。

■コース一覧

※「概算費用」は前回の費用を基にした目安であり、支払い時の為替レート等により変動します。

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間(2026年度予定)	概算費用 (万円)	2025年度 参加者数 (人)
グローバルリーダーシップ・プログラム	夏期休暇中	韓国(2026年度)*	8月中旬(1週間)	実費	6
	イエズス会大学(本学、西江大学(韓国)、輔仁大学(台湾)、アテネオ・デ・マニラ大学(フィリピン)、サナタ・ダルマ大学(インドネシア)他)から学生が集い、共通のテーマのもと次世代リーダーとしての問題意識や共通理解の醸成を目指すプログラム。学内での事前・事後研修、合宿形式の討論、講演の聴講、フィールドワーク等を行う。 *2026年度は西江大学(韓国)にて実施予定。【付与単位】2単位				

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間(2026年度予定)	概算費用(万円)	2025年度参加者数(人)
東南アジアに学ぶB	春期休暇中	タイ	2~3月(約10日間)	38	15
	タイの都市部・バンコクと北部タイの地方部の対照的な二地域に滞在。現地で活動する人々とのセッションに加え、実地調査やホームステイを通じた自ら現場に身を置くフィールドワークにより、地域社会や文化・人々の暮らしや活動を深く捉える。プログラム後半では、少数山岳民族の学生寮運営などを通じて地域支援を行う団体と連携し、現地の人脈の中で自分たちの関わり方を構想・実践するワークショップを予定。地域に入り、経験から理解し、考えながら行動する力を実践的に伸ばす。【付与単位】2単位				
国連の役割と機能(国連集中研修)	春期休暇中	アメリカ	2月中旬(1週間)	45	21
	ニューヨーク国連本部で、現職国連本部職員から直に講義を受けディスカッションを行い、国連の役割と機能について理解を深める集中プログラム。国際社会が直面する課題を学び、将来国際社会で活躍できる人材を養成する機会を提供することを目的とする。【付与単位】2単位				
アフリカに学ぶB※	春期休暇中	南アフリカ	3月(10日間)	50	13
	アフリカ地域の歴史と現在(政治・経済・文化・日常生活)について、講義と実習を中心に学ぶプログラム。現地大学での講義、社会課題解決のための活動団体による研修、歴史・文化施設の訪問を予定。訪問先では、現地学生をはじめ、研究者や地域の活動家に携わる方々等との幅広い人的交流を通して、学生自身が学びを深めることを目的とする。【付与単位】4単位				
オーストラリア・サミット・プログラム	春期休暇中	日本(2026年度)*	2月~3月(1週間)	実費	8
	オーストラリア国立大学の教職員・学生と協働し、一週間にわたりグローバル社会の現代的課題について議論する学生サミット型のプログラム。サミットでは、教員や実務家による講義、学生同士の議論、ロールプレイ、フィールドワークに参加し、それらを通じて、現代的な課題の問題の核心を探索し、課題の解決に向けた共同宣言を作り上げる。 *2026年度は上智大学にて実施予定。【付与単位】2単位				
アジアのなかの「日本」※	春期休暇中	韓国	2月~3月(1週間)	14	12
	本科目では、アジア各国と日本との関係史を踏まえつつ、地域に目線をおき、脱植民地化(decolonization)が埋め込まれた現場を通して、過去の歴史と現在の理解を深めるきっかけを得るとともに、未来に向けた望ましい関係構築の視座を獲得することを目指す。【付与単位】2単位				
日本のなかの多様性	春期休暇中	日本	2月~3月(1週間)	2	17
	日本に所在するマイノリティ・コミュニティ(在日コリアン、被差別部落、ラテンアメリカなど)に注目し各年でテーマ設定する。 2026年度は、「部落差別」をテーマに、日本の被差別部落出身者が直面する現代的な差別とはどのようなものか、そして差別に立ち向かうマイノリティ及びマジョリティ側の活動を学ぶ。【付与単位】2単位				
現代インドの社会・文化・歴史を学ぶフィールドワーク in カルナタカ	春期休暇中	インド	2~3月(10日間)	未定	新規開講
	南インド・カルナタカ州のマンガロールとバンガロールを舞台に、現地イエズス会大学や企業・文化施設の訪問を通じて、インドの社会・文化・歴史を多角的に探究する約2週間のプログラム。日本とインドの相互理解と協力関係の深化を目指す。【付与単位】2単位				

※のついているプログラムは、グローバル・スタディーズ研究科国際協力学専攻において海外実習科目として履修できます。詳細は専攻事務室にお問い合わせください。

④ インターンシップ科目(短期)

対象：2年次以上(科目・実習先の条件によって更なる学年制限がある場合がある)

上智大学と協定を結んだ実習先(グローバル企業、国際機関・協力団体、報道機関、駐日各国大使館など)でインターンシップ(就業体験)をし、事前・事後の講義受講や課題提出を行うことで全学共通科目(選択科目)の単位が付与されます。就業・実務体験を通じて、大学で学んだ専門知識や技能をグローバル社会の中でどのように活かすのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気付きを得るため、主体的に学ぶ姿勢が求められます。インターンシップ科目(短期)は夏期・春期休暇期間中に2~6週間設定されています。募集の詳細はMy Sophiaを確認してください。

対象科目：

- 「経済同友会連携インターンシップ」(2年次生限定・夏期休暇期間中のみ)
- 「グローバルインターンシップ(短期)」(2年次生以上)
- 「UDトラックインターンシップ」(2年次生以上)

プログラム名	実施時期	実施国	研修期間(2026年度予定)	概算費用(万円)	2025年度参加者数(人)
AJCU-AP サービスターニング・プログラム AJCU-AP= Association of Jesuit Colleges and Universities-Asia Pacific	夏期休暇中	東ティモール(2026年度)*	8月上旬(2週間)	8	4
イエズス会の教育精神 For Others, With Othersに基づいた人間的な成長を目指し、環境保全、異文化理解、地域振興をテーマに、現代に生きる若者としてどのような社会貢献ができるかを、韓国・フィリピン・インドネシア等の学生と共に学ぶことを目的とする。【付与単位】2単位 *2026年度はインスティテュート・サン・ジョアン・ジ・プリト(東ティモール)にて実施予定。					
インドの社会経済・人間開発に学ぶ：南インドのケララ州を事例に	夏期休暇中	インド	8月上旬(2週間)	33	9
南インドのケララ州の経済開発、労働問題、人間開発などの特徴や課題について、現地の状況に直接触れながら学ぶプログラム。【付与単位】2単位					
ジュネーブ国際機関集中研修	夏期休暇中	スイス	9月上旬(1週間)	37	25
	国際機関本部が集中しているスイス・ジュネーブに滞在し、関係機関の職員から直接受ける講義や質疑応答を通して各国際機関の役割や活動を学ぶとともに、世界が直面する様々な課題について理解を深める。【付与単位】2単位				
東南アジアに学ぶA(2026年度は休講)	夏期休暇中	タイ、ラオス	8月~9月(10日間)	41	15
	歴史や文化の多様性に富み、ダイナミックに変貌している東南アジアのメコン地域を対象に実施。メコン地域内の経済活動を促進してきた3つの経済回廊のうち、タイの東部からカンボジアとベトナムを繋ぐ「東部・南部経済回廊」を巡り、工業団地やインフラ視察、歴史・文化遺産訪問、国境地帯の観察、学生交流等を通じて体験的に学ぶプログラム。さらに、メコン地域の経済社会発展を支援する国際・政府機関の職員から講義を受け、プロジェクト形成や実施上の課題について学ぶ。【付与単位】2単位				
多文化共生社会のリーダーシップ※	夏期休暇中	アメリカ	9月中旬(1週間)	53	5
	アメリカ(ワシントン州)ゴンザガ大学のリーダーシップ研究専門の学部・大学院であるSchool of Leadership Studiesによって企画・開講されるプログラム。米国におけるダイバーシティやジェンダーの様々な課題、そして多様性を踏まえた包摂的リーダーシップについて、ゴンザガ大学教員による座学、日米の学生同士のアクティビティとディスカッションなどを実践。渡航前後、オンラインでの協働学習(COIL)も実施し、双方を通して理解を深めることを目指す。プログラムの後半にはシミュレーションを訪問、現地の企業などを訪問する予定。【付与単位】2単位				
フィールドワークの実践を通じて学ぶマレー世界	夏期休暇中	インドネシア	8月下旬~9月上旬(2週間)	33	11
	東南アジア島嶼地域の国々に滞在しながら、フィールドワークの手法を実践的に学ぶ。およそ2週間の現地滞在期間に、ホームステイをしながら提携校での現地語研修および文化、歴史に関する講義を受講し、その後、提示された課題にもとづいて、フィールドワークを実施。 2026年度は8月末~9月初旬に、インドネシアのジャワ中部の町ジョグジャカルタにて、提携校であるサナタタラマ大学でインドネシア語および歴史文化の講義を受講し、ジョグジャカルタ市内の食文化調査(市場や屋台など)を実施予定。通訳はもちろん、英語もできる限り用いず、たとえ不十分でも現地の言葉で人々と交流することを重視し、ホームステイもフィールドワークの一環として位置づけられている。帰国後、フィールドワークを通じて得られた知見や気づきを報告書としてまとめる。【付与単位】2単位				
「世界がキャンパス」米国政治経済メディア現地体感実践プログラム	夏期休暇中	アメリカ	8月下旬(1週間)	65	14
	事前講義と現地体感取材を通じて、「米国の歴史と今」を脳と心で理解し、帰国後プレゼンテーションで、現地での学びを「自らの未来」につなげていくことがテーマ。事前講義で、異文化コミュニケーション論、メディア論、米国経済及び政治を扱った上で、現地では、プレゼンテーション能力や取材力を高める実践に臨む。また、独立戦争の発端となったボストン、経済の現場ニューヨーク、議会政治誕生の地フィラデルフィア、政治の現場ワシントンD.C.では、各地で働く人々との交流や歴史的建造物の取材を通じ、歴史を理解した上での「今」を体感。帰国後は各自の発見・取材経験を踏まえてのプレゼンテーションに臨む。【付与単位】2単位				
ラテンアメリカの中の日本~ペルーの中の日系社会	夏期休暇中	ペルー	8~9月(2週間)	未定	新規開講
	南米のペルーへ赴き、「人の移動と共生」について学ぶ。リマの移民博物館を訪問し、日系人コミュニティの活動について理解を深めるほか、野内与吉が初代村長を務めたマチュピチュ村も訪問する。トランスナショナルな「南米日系人」の存在と、彼らの文化や多様な価値観に直接触れることにより、異文化と対話する力、粘り強く問題を解決する力、社会的正義を追求する姿勢を涵養し、「他者のために、他者とともに」協働できる人材へと成長することを目指す。【付与単位】2単位				
アフリカに学ぶA	夏期休暇中	コートジボワール	9月(10日間)	43	13
	アフリカ地域の歴史と現在(政治・経済・文化・日常生活)について、現地での講義と実習を中心に学ぶプログラム。現地大学の他、現地NPO、日本国大使館、JICA事務所等への訪問を予定。これらの訪問先において、現地学生をはじめ、地域の活動家、国際協力関連に携わる方々等との幅広い人的交流を通して、学生自身が学びを深めることを目的とする。【付与単位】4単位				
エストニア・スタディーズアー：持続可能な社会構築に向けた教育の可能性	春期休暇中	エストニア	2月下旬(1週間)	40	6
	時期によってはバルト海周辺国も含めるが、基本的にエストニアの教育機関などの活動を見学し、現地の学生や関係者とのディスカッションを通して、教育プログラムを開発する。特にエストニアにおける環境保全やICT活用などの革新的取り組みと工夫を学び、持続可能な社会構築への示唆を得ることを目的とする。【付与単位】2単位				



第Ⅱ部 | 交換留学

part 2. Exchange Programs



本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学との間で、学生を相互に派遣、受入する制度です。英語集中コース、3キャンパス枠等の交換留学もこれに準じます。上智大学交換留学生として留学する場合、留学期間中の学費は本学にのみ納入し、留学先大学での授業料は免除されます。(ただし、個人で語学講座等に参加する場合の費用は自己負担です。また、語学力不足により語学講座履修を義務づけられた場合や、留学生の登録費、保険料などの費用負担が発生することがあります。)

1 交換留学出願手続等

Students of English-based undergraduate/graduate programs could refer to P.59 "General Information on Study Abroad" where some of the information is indicated in English.

A 募集時期

交換留学生の募集は年2回、留学先大学の教授言語と地域毎に行われます。具体的な募集時期や出願要領については、その都度LoyolaおよびMy Sopihaで通知します。通常、留学開始時期の約10カ月前に学内選考があります。下記の募集、選考時期は目安であり、変更することがあります。また、すべての協定校が毎年募集を行うわけではありません。

	留学先大学教授言語 (地域)	募集案内	願書受付	学内選考結果	留学期間 (目安)
春募集	英語 (オセアニア、オーストラリア、ドイツ、韓国、南アフリカ)・ドイツ語・イスパニア語 (南米)・ロシア語・ポルトガル語 (南米)・韓国語	4月下旬	6月初旬	7月中旬	翌年2~3月から約4カ月または10カ月
秋募集	英語 (北米、欧州、アジア、アフリカ・メキシコ)・フランス語・イスパニア語 (中南米、欧州)・ロシア語・ポルトガル語 (欧州、マカオ)・イタリア語・中国語	7月下旬	9月末~10月初旬	12月中旬	翌年8~9月から約4カ月または10カ月

※詳細は「交換留学協定校一覧」(P.71~) 参照

B 出願及び留学資格

	要件	備考
1	留学開始までに32単位以上を修得しておくこと。	留学は2年次2学期目より可能。 留学に出発する前の学期までに32単位以上を修得しておくこと。(詳細はP.42参照)
2	上智大学での全科目の累積GPAが2.8以上であること。(注1)	総合平均点GPA (Grade Point Average) の計算方法： GPAとは各評価に与えられている評価点に各授業科目の単位数を乗じて得た積の合計を登録科目の総単位数で除して算出します。(4点満点) 【GPAの計算式】 $\frac{4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times D \text{の修得単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数 (W,N,P,Xとして表示された科目を除く)}}$
3	必要な外国語の要件を満たしていること。	各協定校の語学要件はLoyola「留学関連情報」掲載の募集要項参照。
4	学科長の承諾があること。	院生は専攻主任と指導教員両方の承諾が必要
5	心身ともに健康であること。(注2)	毎年4月に本学で行われる定期健康診断(内科診察も含む)の受診が必要。9月入学者も必ず4月に受診すること。
6	経済的保証及び保証人の承諾があること。	留学に必要な費用について、家族とよく相談し、経済的な保証を得てから出願すること。

重要

注1：交換留学学内選考合格者は、留学予定大学へ上智大学から推薦され、その後先方大学の審査により入学許可が出て初めて交換留学が可能となります。

(最終的な留学可否は例年、出発の2、3カ月前に判明)

学内選考に合格しても、留学先大学の審査で入学不許可になり、交換留学ができない可能性もあります。(特にGPA3.0未満の場合、入学不許可となる場合があります)

注2：学内選考合格者のうち健康面で経過観察が必要な場合は、留学出発前までの間に適宜、医師の診察を受ける必要があります。最終的な留学の可否判断は、医師の所見を参考に学長が決定します。

※合格後、正当な理由なく辞退することは認められません。

C その他出願の留意点

(1) 学部生の留学可能年次について

協定校ごとに、留学可能年次が定められています。3年次生以上が留学が可能な大学には、1年次生は出願できません。2年次生以上が留学可能な大学には1年次生も出願できますが、本学入学後少なくとも1学期以上在籍し、本学の成績証明書を出願期間内に提出することが必要となります。(協定校ごとの留学可能年次は、Loyola「留学関連情報」に掲載の「過去の要件」を参照してください。)

(2) 留学期間と回数

交換留学期間は1年間(約10～12カ月)もしくは1学期(約4カ月)となります。出願・配置大学決定後の交換留学の延長・短縮はできません。交換留学から継続して留学する場合は、学事センターで「一般留学」か「休学」の手続きをしてください。学部在学中の交換留学は原則として1人1回です。ただし、下記の交換留学プログラムを組み合わせる場合は、例外として2回の交換留学が認められますが、修業年限に算入する期間は1年間を上限とします。また、本学の単位に換算できる単位数の上限は、合計30単位です。

- ・LAP + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + 交換留学
- ・SAIMSプログラム + LAP

※大学院生は第III部「大学院生の留学」(P.38～)をご確認ください。

D 出願に必要な書類

- (1) 交換留学願書
- (2) 語学能力を証明する書類（留学を希望する大学の語学要件を満たすこと）
- (3) 本人誓約書・保証人および学科長の承諾書（本学所定用紙）
- (4) 最新の英文成績証明書
- (5) 本学ウェルネスセンター発行の健康診断証明書

出願要領や必要書類については、募集時に Loyola・My Sophia でお知らせします。

E 選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 面接
本学教員による面接を行います。
- (3) 選考判定
学業成績（GPA）、面接点をもとに、総合点を算出します。この「総合点」の高い順に志望先大学へ割り振ります。

F 交換留学学内選考試験合格後の手続き

合格大学への推薦

学内選考に合格した者は、「交換留学候補者」として留学先大学へ推薦されます。その後、留学先大学で必要な出願書類を準備・送付し、先方での受入審査があります。下記の条件がすべて満たされた場合に、正式に留学が決定されます。

- ① 留学先大学から正式に入学許可がおりること
- ② 学内選考合格後も全科目の GPA が留学先の要件を満たすこと
- ③ 心身ともに健康であること（定期健康診断（内科検診を含む）で問題がないこと）
- ④ 上智大学指定の海外留学保険および危機管理サービスに加入すること

留学前に本学へ提出する書類

留学願、誓約書、留学先大学での入学審査のための必要書類等については、グローバル教育センターから通知します。

留学先大学への主な提出書類（大学により異なります）

- ・ 留学先大学所定願書、英文推薦状、英文成績証明書
- ・ 本人または保証人の英文預貯金残高証明書
- ・ 英文の健康診断書（予防接種の記録を含む）
- ・ 語学能力証明書（学内選考合格後、留学先大学に直接提出することが必要となる。スコアの有効期限に充分余裕のあるものが望ましい。）

- ・ 大学院生の場合、GRE（General Test, Subject Test）または GMAT のスコアを要求されることがあります。また、学部生より高い語学試験のスコアを要求されることがあります。

宿舎申込について

留学時の宿舎手配は交換留学生候補者が自身で行います。通常は留学先大学を通して紹介、または斡旋がありますが、地域により住宅事情は異なります。また、大学経由での斡旋、手配が受けられず、自身で住居を探す必要が生じる場合もあります。昨今は慢性的な宿舎不足により、渡航前の宿舎確保が難しくなっている大学もあります。登録や申し込みは留学先大学から案内があったらすぐに行うようにしてください。

入学許可取得後の渡航準備、ビザ申請など

交換留学の場合でも自己手配となります。入学許可書を取得した後、留学先大学から到着指定日や出迎えサービスの有無の案内がありますので、速やかにご自身で旅行会社や渡航予定国の大使館ウェブサイトで最新情報を確認し、必要な準備を行ってください（概ね留学開始時期の3か月前頃が対応の目安）。

渡航先の入国・滞在条件は頻繁に変更されるため、グローバル教育センターでの手配、支援は行っていません。自身の責任で安全に現地に渡航できる手段、方法で手配してください。

帰国後の提出物

交換留学生は、帰国後1カ月以内に「交換留学帰国レポート」を提出することが義務づけられています。

G 交換留学時に見込まれる費用

- (1) 留学先大学に授業料を納入する必要はありません。
- (2) 留学先大学指定の保険や、授業料以外の諸経費は個人負担が必要となる場合があります。
- (3) 旅費や現地での生活費は本人負担となります。1年間留学する場合、必要経費として200～400万円程が見込まれます。この金額は、留学先、通貨の換算レート、現地での生活の仕方、休暇の過ごし方によっても大きく変わってきます。
- (4) 本学学費は通常の請求にしたがって納入ください。
- (5) 日本出発から帰国日までの上智大学指定の海外留学保険と、危機管理サービスへの加入（約15万円）が必要となります。
- (6) 個人の希望で、学期開始前に留学先大学で開講される語学講座等に参加する場合、費用は個人負担となります。
- (7) 語学力不足により学期前あるいは学期中の語学講座参加を義務付けられた場合にも、費用負担が生じることがあります。

2 目的に合わせた交換留学プログラム

A 英語集中コース

交換留学協定校で行われている語学プログラムに参加し、英語を集中的に学びます。留学期間は秋学期の1学期間のみとなります。学費を本学に納入することにより留学先大学での授業料は免除されますが、渡航費・滞在費等は参加者の負担です。

※単位付与を希望する場合は、学内選考合格後、語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録が必要です。

※本プログラムは、通常の交換留学へ参加するには英語力が不足していて出願が難しい者を対象としています。

※以下対象校については、毎年度募集有無が異なる可能性があります。自身が出願する際の募集要項を必ず確認すること。

【対象校】

- ①カンザス大学 (The University of Kansas) / アメリカ
プログラム名：Applied English Center Program (AEC)
授業期間：8月中旬～12月中旬
- ②クレイトン大学 (Creighton University) / アメリカ
プログラム名：Intensive English Language Institute (IELI)
授業期間：8月中旬～12月中旬
- ③ミシシッピ大学 (The University of Mississippi) / アメリカ
プログラム名：Intensive English Program (IEP)
授業期間：8月中旬～12月中旬
- ④セント・メアリーズ大学 (St. Mary's University, Texas) / アメリカ
プログラム名：Intensive English Program (IEP)
授業期間：8月中旬～11月下旬

【プログラム参加にあたって】

対象者：学部生（留学時も学部生であること）

出願資格：①留学する前学期までに32単位以上を修得済みであること

②全科目のGPAが2.8以上であること

③学科長の承諾があること

④心身ともに健康であること

⑤経済的保証及び保証人の承諾があること

出願書類：Loyolaにて確認すること（※1）

選考方法：書類審査、面接

判定：GPA、面接点をもとに総合点を算出。総合点の高い順に志望大学へ割り振ります。

出願期間：9月末

詳細はLoyolaおよびMy Sophiaにて確認すること

【単位付与について】

単位は語学選択科目（6単位分、成績評価は「P」）として認定されます。付与される単位が卒業要件に算入されるか否かについては履修要覧を確認ください。また、単位が付与されるためには以下の全ての条件を満たすことが必要となります。

1. 語学科目「交換留学海外英語集中講座」の履修登録を行うこと
2. 事前講義に出席すること
3. 現地での語学プログラム(135時間以上)に参加し、所定の成果を修めること(※2)
4. 帰国後に指定の英語検定試験(※3)を受験すること
5. 交換留学に参加するうえでの各条件を満たすこと
6. プログラム終了後の次学期に在籍していること(※4)

※1: 出願時には、1年次に受験したAC-TEAPのスコアをLoyolaの外国語検定試験画面のコピーを提出すること。未受験の場合はTEAP(4技能)、TOEIC®(4技能)、TOEFL iBT®、IELTS、Duolingoのいずれかのスコアコピーの提出が必要です。CASECのスコアは使用不可です。(ただし、点数は選考には影響しません。)

※2: 英語のレベルが高い者(通常の交換留学に出願できる程度のレベルがある者)は、現地での語学プログラム参加時間数が135時間に満たないことがあり、その場合、単位付与が不可となります。英語のレベルについて不安がある場合は、事前にグローバル教育センター窓口で相談してください。

※3: TOEIC®(4技能)、TOEFL iBT®, TEAP(4技能)、IELTS、Duolingoのいずれかを各自受験し、スコアコピーを4月30日までに提出すること。

※4: 当プログラムの単位はプログラム終了後の翌春学期に付与されます。そのため、当プログラム参加学期を以って卒業もしくは退学を予定している学生は単位付与の対象外となります。

B Sophia AIMS (SAIMS) プログラム

ASEAN 政府主導の国際的な留学制度である AIMS Program による東南アジアの協定校への1学期の交換留学です。留学先では、言語・文化、国際ビジネス、経済学、食料科学技術など各大学が提供する様々な分野を学ぶ機会があります。

留学期間：1学期 / 対象者：学部生 / 使用言語：英語
 授業料：交換留学と同様、留学中は上智大学のみ納入(留学先の授業料は免除)
 募集時期および出願条件：通常の交換留学に準ずる

留学先

所在国	大学名	留学開始時期	所在地
インドネシア	IPB University	秋	Bogor
	Gadjah Mada University	秋	Yogyakarta
タイ	Chulalongkorn University	秋	Bangkok
	Mahidol University	春・秋	Nakhon Pathom
フィリピン	Ateneo de Manila University	秋	Manila
	De La Salle University	春・秋	Manila
マレーシア	Universiti Kebangsaan Malaysia (The National University of Malaysia)	秋	Bangi, Selangor (Kuala Lumpur 郊外)

【履修推奨科目】

SAIMS プログラムは、ASEAN の学生と協働して既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組むことを目指す学融合型プログラムです。自ら ASEAN 諸国へ留学すると同時に、ASEAN から本学で受け入れている学生との交流を通じた学びを深めるため、留学前後に以下の科目の履修を強く推奨しています。(使用言語：英語)

※これらの科目は本学全学部生に開講されています。開講状況については履修要覧を確認してください。

科目名	開講学期	開講元
CONSERVATION	春学期・秋学期	全学共通科目
ENVIRONMENTAL SCIENCE	春学期・秋学期	全学共通科目
SUSTAINABLE DEVELOPMENT	1Q・3Q	全学共通科目

C Latin America Program (LAP)

LAPは、文部科学省の補助事業(「大学の世界展開力強化事業」)として、南山大学、上智大学短期大学部と連携して実施してきた、中南米地域との留学プログラムです。補助事業期間は終了しましたが、中南米との学生交流を今後も継続するために、上智大学としてLAPを継続しています。LAPには提携大学である中南米6カ国13大学への長期留学、コロンビアへの短期留学、中南米からの受入留学生と交流できる上智でのスペイン語・ポルトガル語での科目など、様々なプログラムがあります。

留学期間：1学期または1年間 / 対象者：学部生、大学院生
 使用言語：スペイン語またはポルトガル語
 授業料：交換留学と同様、留学中は上智大学のみ納入(留学先の授業料は免除)
 募集時期および出願条件：通常の交換留学に準ずる

留学先

所在国	大学名	所在国	大学名
アルゼンチン	Universidad Católica de Córdoba	コロンビア	Pontificia Universidad Javeriana
	Universidad del Salvador		Universidad de los Andes
ブラジル	Universidade de Brasília	メキシコ	Universidad Iberoamericana Ciudad de México
	Pontificia Universidade Católica de São Paulo		Universidad de Guanajuato
	Universidade Estadual de Campinas		Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente
チリ	Pontificia Universidad Católica de Chile	メキシコ	Instituto Tecnológico Autónomo de México
ペルー	Pontificia Universidad Católica del Perú		

【履修推奨科目】

LAPを通じて中南米諸国へ長期留学する学生は、このプログラムのために特別に設けられた次の科目から最低1科目を、留学前もしくは留学後に履修することが強く推奨されます。本科目には中南米諸国からLAPを通じて上智大学へ来る留学生も参加します。(使用言語：スペイン語またはポルトガル語)

※これらの科目は本学全学部生に開講されています。

科目名	開講学期(開講元)
「日・西語圏比較文学」	秋(イスパニア語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)1」	春(ポルトガル語学科)
「演習(在日ブラジル人教育・社会事情研究)2」	秋(ポルトガル語学科)
JAPANESE POP CULTURE	秋(全学共通科目)

■短期留学

対象者：学部生 / 単位：2単位付与

プログラム概要：海外短期研修「教皇立ハベリアナ大学」

高度なスペイン語運用能力の習得とコロンビア文化への理解を深め、多様な文化背景をもつ学生と交流し、多文化への理解と適応力を高めます。明確な目的意識と目標を持って、勉学に励むことができる、スペイン語既修者対象。

募集等詳細はP.21を参照。

D 3キャンパス枠交換留学（上智大学・西江大学・香港城市大学3キャンパス東アジア地域研究国際共同プログラム）

上智大学・西江大学（韓国）・香港城市大学（中国）の3つの大学で、それぞれの国に関する歴史、文学、経済、政治、国際関係、文化等に関する科目を英語で学び、東アジア地域に関する理解を深めるプログラムです。上智大学からの参加学生は、交換留学により、西江大学（School of Integrated Knowledge）と香港城市大学（College of Liberal Arts and Social Science）へそれぞれ1学期ずつ留学します。

対象者：学部生 / 使用言語：英語 / 留学期間：計1年

募集時期および出願要件：通常の交換留学に準ずる。

E 海外大学院との3+2プログラム（修士課程特別進学プログラム）

このプログラムは、上智大学の学部で3.5/3年間*学んだ後に、提携する海外大学院で2年間の修士課程を終えると、計5.5/5年間*で学士号（上智大学）と修士号（海外大学院）が取得できるプログラムです。希望者は留学先大学の定める要件を満たし、通常の入学審査に出願して合格する必要がありますが、上智大学の推薦を通して同大学院に出願することによって、一般受験者より優先的に審査を受けることができます。

※4月入学の場合：計5.5年間（上智大学3.5年間、海外大学院2年間）

9月入学の場合：計5年間（上智大学3年間、海外大学院2年間）

対象者：出願時点で、上智大学学部3年次の者

募集時期：年1回（10～11月頃）

留学開始時期：上智大学での学部4年次（秋学期）

進学対象大学院：

① The Graduate Institute of International and Development Studies

（スイス・ジュネーブ）

スイス・ジュネーブの中心地にあり、数多くの国際機関職員や外交官を輩出してきた大学院です。同大学院では、国際関係学、国際法、歴史学、経済学、人文学や開発学等の幅広い専攻分野が提供されています。

対象専攻：

- ・ Interdisciplinary Masters : International and Development Studies
- ・ Disciplinary Masters : Anthropology and Sociology, International Law, International Economics, International History and Politics, International Relations/Political Science

② Università Cattolica del Sacro Cuore（イタリア・ミラノ）

イタリアのミラノに所在するヨーロッパ最大のカトリック大学で、毎年複数名の上智大学生が交換留学生として学んでいます。英語で開講される科目も幅広い分野に渡り、留学生に対するサポート体制も充実しています。

対象専攻（対象学部・学科は募集要項確認）：

The Art and Industry of Narration / Communication for Business, Media and Culture / Economics / Linguistic computing / Management / Healthcare Management / Global Business Management / Physics and Innovation

F MAGIS 交換留学

MAGIS交換留学プログラムは、イエズス会系コンソーシアムのIAJU (International Association of Jesuit Universities) によるイエズス会の大学間で行う学生交換プログラムです。参加学生は、グローバル市民としての役割を認識し、他者のために社会的および環境的問題におけるリーダーシップを発揮する人材として成長することが期待されます。

留学期間は1学期間のみで、留学前にオンラインで事前講義を受講し、留学中にインターンシップ、ボランティア、またはサービスマーケティングの経験をすることができます。

対象者：学部生

使用言語：英語、ポルトガル語、イスパニア語（留学先大学により異なる）

留学期間：1学期

出発時期および募集時期：秋出発、前年9月下旬募集

出願要件：通常の交換留学に準ずる。



第Ⅲ部 | 大学院生の留学

part 3 . Study Abroad Programs for Graduate Students



1 在学中の留学（交換留学）

大学院生も通常の交換留学に出願できます*。ただし、協定校によっては大学院生の受入を行わない大学や、大学院生向けの成績や語学要件を別に定める大学、大学院生を学部生扱いでしか受け入れない大学もあります。個別のケースについてグローバル教育センターから協定校に事前に問い合わせる必要があるため、希望者は学内募集要項で指定された期日までに、①留学希望大学名、②受入希望研究科・専攻、③履修希望科目などを具体的に調べたうえで、グローバル教育センターまで問い合わせてください。なお、協定校からの回答により出願が可能となった場合でも、学内選考合格後、協定校の審査で受け入れ不可となるか、学部生扱いでの受入を提案されることもあります。

※本学入学後少なくとも1学期以上在籍し、本学の成績証明書を出願期間内に提出することが必要となります。この条件を満たさない場合は、事前にグローバル教育センターに相談してください。

※留学資格については第Ⅱ部「交換留学」(P.26～) および第Ⅳ部「長期留学に関する規則」(P.42～) も確認してください。

大学院生で留学を希望する者は、留学開始時に下記の条件を満たす必要があります。

- ・本学の大学院に1年以上在学していること
- ・前期課程の場合には、本学において修得すべき授業科目10単位以上を修得していること

ただし、専攻主任及び指導教員は、学生の研究指導上、留学することにより、研究又は学修の効果が上がるものと判断した場合は、当該学生について、本学大学院に1学期在学していること及び授業科目を10単位以上履修登録をすることを条件に、留学の資格者とすることができます。

また、以下の交換留学協定校では特定の分野を専攻する大学院生に特化して受入を行っています。出願要件は通常の交換留学に準じますので、Loyola「留学関連情報」に掲載する交換留学の募集要項に従って出願してください。

理工学研究科学生のみ対象

- ・ Warsaw University of Technology (WUT)
- ・ Zurich University of Applied Science (ZHAW) School of Engineering

ドイツ文学、神学、哲学を専攻している博士後期課程の大学院生推奨

- ・ Albert-Ludwigs-Universität Freiburg ※最長2年間の留学が可能

2 海外大学院特別進学制度

本学では、上智卒業後に海外大学院への進学を希望する学生が、上智の推薦を受けて出願する制度を設けています。大学によって優先的な審査や、一部費用の減免等のメリットがあります。

学内選考募集時期：年1回（9月上旬） 進学時期：翌年秋学期

フォードム大学大学院 Fordham University

[アメリカ・ニューヨーク]

下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦に基づき通常の審査よりもシンプルな手続によって入学が可能です。また、一部授業料の減免措置も適用されます。

進学対象大学院：Graduate School of Arts and Sciences

対象専攻：International Political Economy and Development (IPED)

Urban Studies (URST) Public Media (PMMA)

Humanitarian Studies (MSHS) Data Science (MSDS)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

コロンビア大学 Columbia University

[アメリカ・ニューヨーク]

各大学院の志望専攻での出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Teachers College, School of Professional Studies

対象専攻：全てのプログラム

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

ボストンカレッジ Boston College

[アメリカ・ボストン]

下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院：Lynch School of Education and Human Development

対象専攻：Master of Arts degree in Higher Education

対象者：翌年3月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

ジョージタウン大学大学院 Georgetown University

[アメリカ・ワシントンD.C.]

各大学院の下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け出願することによって、一般受験者より優先的に審査されます。

進学対象大学院（専攻）：

Department of Government (M.A. in American Government, M.A. in Conflict Resolution, M.A. in Democracy and Governance)

McCourt School of Public Policy (Master of Public Policy, Master of International Development Policy, Master of Science in Data Science for Public Policy)

School of Foreign Service Security Studies Program (※)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者、または本学卒業生

※2027年度秋出発より募集予定。卒業見込みの学部生のみ対象。

ハルト・インターナショナル・ビジネススクール Hult International Business School

[主なキャンパス：アメリカ・ボストン、イギリス・ロンドン]

下記専攻の出願要件を満たす者は、本学の推薦を受け出願することによって、一般受験者より優先的に審査されるほか、一部授業料の補助を受けることができます。

進学対象専攻：Master's in Management (MIM)、Master's in Marketing (MMKT)、Master's in Finance (MFIN)、Master's in Business Analytics (MBAN)

対象者：翌年3月または9月に本学を卒業見込みの者

国内での学び

国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) セカンドマスター取得制度

上智大学大学院博士前期課程（修士課程）修了者を対象とした、国連大学サステナビリティ高等研究所 (UNU-IAS) とのセカンドマスター取得制度です。

上智大学（研究科不問）在学中に、UNU-IASの課程に関係する科目や、ジョイントディプロマ科目、集中講座などを履修することで、UNU-IAS入学直後より、Research Seminarに参加することができ、期間を短縮して修士課程を修了することが可能になります。



第IV部 | 長期留学に関する規則

part 4. Regulations for Long-Term Study Abroad



A 留学の資格

1. 学部生

学部生で留学を希望する者は、留学出発までに本学に1年以上在学し、留学開始の前学期まで（国際教養学部、SPSF、理工学部英語コースの学生は、留学開始学期前の4学期間）に32単位以上修得しておく必要があります。留学した年度は在学期間に算入されるため、学則第40条（注）の対象となります。交換留学の学内選考出願は1年次（2学期目）でもできますが、留学開始は2年次（4学期目）以降となります。

（注）連続する2カ年において、学部学科が指定する授業科目を含む32単位以上を修得できない者については、学長が退学を決定する（学則第40条）

2. 大学院生

大学院生で留学を希望する者は、留学開始時に下記の条件を満たす必要があります。

- ・本学の大学院に1か年以上在学していること
- ・前期課程の場合には、本学において修得すべき授業科目10単位以上を修得していること

ただし、専攻主任及び指導教員は、学生の研究指導上、留学することにより、研究又は学修の効果が上がるものと判断した場合は、当該学生について、本学大学院に1学期在学していること及び授業科目を10単位以上履修登録をすることを条件に、留学の資格者としてすることができます。

B 留学の期間

1. 留学期間は、交換留学は1学期または1年（SAIMS/LAPを含む場合はこの限りではない）、一般留学は1クォーター単位で申請が可能です。ただし、継続して留学が許可された場合は最長2年まで延長できます。交換留学の場合は出願時に留学期間を選択します。

※交換留学の場合、「交換留学」の身分は最長1年（4クォーター）

但し、申込時に1学期（2クォーター）とした場合、その後「交換留学」の身分を1年（4クォーター）に延長することはできません。（P.28(2)「留学期間と回数」参照）

※一般留学の場合の留学期間は、留学先大学の授業期間と単位換算対象となるかどうかを考慮して申請すること。詳細はP.44「F 単位換算について」参照。

2. 2年間留学した場合、2年とも「在学期間」に算入されますが、「修業年限」に算入されるのはそのうちの1年間だけです。

※修業年限→卒業に必要な4年間 ※在学期間→本学に最長在学できる8年間

C 留学の延長または取消し

1. 一般留学で許可された留学期間を超える場合は、その期間終了の1カ月前、かつ留学を希望するクォーター開始の前日までにあらためて留学願を提出し、許可

を受けてください。

- 交換留学をやむをえず取消す場合は理由書を添えてグローバル教育センターにすみやかにご相談ください。一般留学の場合は復学を希望するクォーターの前日までに学事センター(学籍)に復学届を提出してください。

D 留学前後の手続一覧 (詳細については各該当箇所を参照のこと)

	窓口	手続・提出書類等	注意
留学前	グローバル教育センター	「留学願(交換留学)」	提出前に学科の指導を受けること
		大学指定保険・ 危機管理サービス加入	一般留学、休学での海外勉強も加入が必要です。 出発1カ月前までに窓口で問い合わせること
	学事センター(学籍)	「留学願(一般留学)」	提出前に学科の指導を受けること 「留学願(一般)」は留学の1カ月前かつ留学を希望するクォーターの前日までに提出すること
留学中	帰国後の単位換算に必要な書類を確認し、留学先大学で通常発行していない書類や、単位換算の申し込み時点で間に合わないおそれのある書類などは、余裕を持って留学先大学に請求してください。(P.44「単位換算について」参照)		

	窓口	手続・提出書類等	注意
帰国後	学事センター(学籍)	帰国届	一般留学の場合は、学事センター窓口へ備え付けの「帰国届」を提出してください。交換留学の場合は、グローバル教育センターより発行される「帰国届」を提出してください。
	学事センター(教務)	◇修得単位換算願	◆下記「履修登録について」参照 ◆登録されていない科目の単位は修得できないので必ず確認のこと ◆P.44「単位換算について」参照
	グローバル教育センター	交換留学帰国レポート	交換留学の場合のみ

※履修登録や単位に関する相談は、学事センター(教務)で行ってください。

E 履修登録について

履修計画

留学の種類や留学期間によって卒業の時期は異なりますが、計画通りの時期に卒業するためには、事前に履修計画をしっかりと立てておく必要があります。卒業の要件は、①修業年限を満たす②卒業に必要な所定の授業科目の単位を修得する、の2点です。この条件が満たされると、留学中であっても修業年限を満たした年度の3月(4月入学者の場合)／9月(9月入学者の場合)に自動的に卒業となります。前年度の履修科目や単位換算の予定を含め十分に計画を立て、学科の履修指導を受けてください。

F 単位換算について

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます*。ただし単位数は、本学の基準により換算するので、留学先大学で修得した単位数のままでは算入されません。上智大学で開講している科目名や単位数に読みかえることなく、留学先大学で取得した科目を上智大学の基準で計算した単位数に換算します。その際、その換算により必修科目等の履修が免除されることもあります。

※「交換留学」と「一般留学」の組み合わせで在学中に複数回留学する場合や、P.28「(2) 留学期間と回数」に記載の2回交換留学する場合であっても、換算できる単位数の上限は合計30単位です。

※一般留学の場合、上智大学の学籍上の留学期間に開講される科目の単位が単位換算の対象となる。よって、「留学願(一般留学)」にて申請する留学期間は、留学先大学の授業期間と一致させること。ただし、本学のクォーターや学期と留学先の授業期間が一致しない場合、留学期間1クォーターにつき、留学先大学の授業期間3か月分(留学期間が2クォーター=1学期間であれば6か月)を超えない範囲であれば、上智大学の学籍上の留学期間以前もしくは以後の授業期間で取得した単位を換算の対象として認める可能性がある。

例：留学先大学に2月～6月まで(=留学先大学の1学期)と7・8月の夏期短期講座を履修・単位修得した場合

学籍上の留学期間4Q、次年度1Q・2Q → 留学中に修得した全ての単位が換算対象

学籍上の留学期間1Q・2Q → (2～8月だと6か月を超えるため)2月～6月までの1学期分に修得した単位のみが換算対象

1. 必要書類

	手続・提出書類等	注意
留学先で取り寄せるもの(次頁続く)	成績証明書	成績証明書は以下1、2のいずれかを提出すること 1. 大学発行の大学印及び署名のある原本(紙)※コピー不可。 2. 留学先大学から上智大学に直送される大学発行の電子成績証明書または証明書電子データ ※学生自身に送られたものや学生がWebサイトからプリントアウトしたものは不可。 留学先大学には以下の宛先に送付するよう、学生自身が担当オフィスに依頼すること。交換留学と一般留学で送付先が異なるので間違えないよう注意すること。 【交換留学の場合】グローバル教育センター 宛先：Center for Global Education and Discovery メールアドレス：outbound-co@sophia.ac.jp 【海外短期研修(UCLA, ESSCA)の場合】グローバル教育センター 宛先：Center for Global Education and Discovery メールアドレス：short-outbound-co@sophia.ac.jp 【一般留学の場合】学事センター 宛先：Center for Academic Affairs メールアドレス：academic_affairs_transfer_2-co@sophia.ac.jp ※学事センターのメールアドレスは成績証明書の送付以外の用途では使用できないので、問い合わせや他の提出物は送らないこと。万が一送られても返信や対応は行わない。また、留学単位換算の手続きはメールではできないので、他の必要書類は必ず窓口へ持参すること。

	手続・提出書類等	注意
留学先で取り寄せるもの	成績の評価基準を示す文書	可否の基準(どの評価までが単位修得となるのか)が明記されているもの(成績証明書に記載があれば、それも可) ※成績証明書を電子データで提出する場合は、あわせて評価基準を示す文書の添付を依頼しておくことよ。
	留学先大学の学年暦	授業開始日・終了日、試験期間、休暇期間を示す書類 ※HPなどのプリントアウト、コピーでも可
	各科目シラバス(講義内容が書かれた書類)	成績証明書と科目名が一致していること ※HPなどのプリントアウトも可 ※シラバスがない場合は、担当教員に事情を説明し必ず作成してもらうこと。シラバスがない科目については単位換算申請できません。
	クラススケジュール(各科目の時間割)	各科目の時間数(1科目あたりの総時間数あるいは授業の曜日・時限および1限あたりの時間)を示す書類 ※シラバスや成績証明書等に記載されている場合は不要。
受取るもの 帰国後に	修得単位換算願・換算単位計算用紙	My Sophia学事センターページ「申請書類ダウンロード」から入手

* 帰国後、提出書類を元に単位数の計算根拠等の確認を行います。これらの書類がすべて揃わないと、単位換算手続きができないので、十分注意すること。

* 換算内容によっては、上記の書類を英語または日本語に翻訳する必要があります。不明な点は学事センターに問い合わせること。

* 「語学科目」を換算希望の場合

- (1) 内容が判定できる書類(シラバス、テキスト、テスト等)が必要です。
- (2) 原則として単位換算時には留学先の大学で修得した語学科目のレベルは問いませんが、各自のレベルに見合った科目を履修してください。なお、わからないことがある場合には事前に学事センター(教務)に相談してください。

* 全学共通科目の「高学年向け科目」(21年次生以前は「高学年向け教養科目」)に換算を希望の場合、原則として、ナンバリングでの説明やシラバスなどに高学年・上級生向けなどの記載が必要となります。

* “tutorial”や“independent study”など、一定の授業時間を持たず、レポートや論文などの成果物をもって成績評価される科目があります。これらの科目を換算希望の場合は、論文と詳細な論文指導内容の提出が求められますので、担当教員にシラバスを作成してもらってください。

* オンライン科目についても単位換算は可能です。ただし、オンライン科目であっても、上記クラススケジュールの提出が求められますので、ご注意ください。オンデマンド授業等で、授業時間の設定がない科目は単位換算できません。

【注意】大学によっては、必要事項が記載された書類が発行されていない場合があります。その場合は以下の書類を揃えてください。

- ① 授業内容や時間数に関しては担当教員のサインのある証明書
- ② 学年暦や成績評価基準に関しては交換留学オフィス等発行の書類、もしくはHP等のプリントアウト

特に授業時間に関しては、曜日・時限のある詳しい記述が必要ですので、注意してください。

2. 単位換算の計算式

留学先大学で単位が付与された科目が単位換算の対象です。不合格となった科目や単位が付与されない科目は単位換算できません。

以下(1)または(2)の計算式・基準時間により計算します。

$$(1) \frac{\text{1回の授業時間(分換算)} \times \text{週の授業回数} \times \text{科目の開講期間(週数)}}{\text{上智大学の基準時間}}$$

$$(2) \frac{\text{総授業時間数} \times 60 \text{ (分換算)}}{\text{上智大学の基準時間}}$$

上智大学の基準時間

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分(1単位)
外国語・演習	1,350分(1単位)
実験・実習	2,025分(1単位)
体育実技	1,350分(1単位)

* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

3. 単位換算願の手続

- (1) 帰国後、「修得単位換算願」および「換算単位計算用紙」に必要事項を記入します。
- (2) 前頁の必要書類をもって所属学科の指導を受け、「修得単位換算願」に指導印をもらいます。(卒業要件のどの科目区分に何単位分として認定してもらう予定か、また換算後の履修計画等を踏まえたうえで、換算を希望すること。)なお、学科指導を受ける前に、学事センターにて計算方法に間違いがないか、換算可能な単位数を確認しておくことを勧めます。
- (3) 原則、帰国後3カ月以内に、前記必要書類を学事センター(教務)に提出してください。(換算が終わるまで約1カ月を要するので、履修登録の日程を踏まえ、提出の時期を考えること。成績証明書は返却しないので、注意すること。)連続して複数のプログラムに参加した場合は、全てのプログラムの終了・帰国後3カ月以内に提出することも可能です。

* 留学による単位換算を含む単位認定の取り扱い期間
 春学期単位認定分として取り扱う期間: 2026年1月20日(火)~2026年7月17日(金)
 秋学期単位認定分として取り扱う期間: 2026年7月20日(月)~2027年1月18日(月)

* 履修登録期間中、定期試験期間中は単位換算書類の受付を行いません。詳細はMy Sophiaに掲示します。

上記の期間内に全ての必要書類を提出することが必須となります。

留学単位換算により認定された単位は各学期・年度の最高履修限度には含まれません。(例: 3年次春学期の最高履修限度が28単位、年間上限が48単位だった場合、当該学期に30単位換算したとしても、春学期28単位まで、年間48単位までの履修登録が可能です。)

- (4) 換算に際し必要がある場合には、さらに書類の提出や面接を求められることがあります。
- (5) 換算が終わると My Sophia にて呼び出しを行なうので、必ず学事センター(教務)で換算後の修得単位換算願の写しを受け取り、卒業要件や今後履修すべき科目等よく確認してください。(単位換算をすると、卒業に必要な単位数の計算が複雑になるので十分な注意が必要です。不明な点は換算後すぐに相談すること。なお、この写しは再発行されない為、卒業まで大切に保管すること。)
- (6) 換算に際し提出した書類はいかなる理由があっても返却できません。必ず事前に写しを取っておいてください。

4. 注意

- (1) 留学による単位換算は1プログラムにつき1度しかできません。また、決裁後の換算内容の変更等も一切できません。単位換算はその後の履修計画や卒業要件に関わりますので、学科の先生と面談のうえ、慎重に行ってください。

なお、以下のことはできませんので、注意してください。

- ・ 郵送や代理人による申し込み。
- ・ 本学休学中に海外の大学で修得した科目の単位換算。
- ・ 体育以外の実技科目(例えばタイプライティング、ピアノ等音楽のレッスン、陶芸、デッサンなど)の単位換算。
- ・ 日本語が母語の学生の語学科目としての日本語(日本語の修得を目的とした科目)の単位換算

5. その他

- (1) 計算して例えば3単位となった科目の同種別科目を2つ合わせて6単位換算し、この6単位をもって4単位の必修科目等に充当させることがあります。
- (2) 学科科目として換算を希望する場合、換算する科目ごとに計算した結果、小数点第1位までの和をもって総換算単位とすることができます。(総換算単位の小数点以下は切り捨て)

(例) 学科科目

科目名	計算結果
国際政治	4.5
アメリカの政治	4.2
経済学	3.2
ジェンダー論	0.9

計算結果合計 = 12.8 単位
換算単位 = 12 単位

- (3) 全学共通科目として換算を希望する場合も、前記(2)の方法に準じますが、各カテゴリー別(必修、選択必修、選択)に換算します。
- (4) 本学の成績証明書上、「留学による単位換算」●単位と表記され、成績評価は「N」となりGPAの計算には含まれません。



第V部 | 留学に必要な準備

part 5. Preparation for Study Abroad

大学の海外渡航方針

【海外渡航条件について】

上智大学では、学生の皆さんの安全を最優先事項とし、大学の各種プログラム、私費留学、フィールドワークや課外活動のいずれにおいても以下の条件を定めています。

《海外への渡航が許可される最低限の条件》

- ・ 外務省の海外安全・感染症危険レベルが1以下であること (P.49～も参照)
- ・ 渡航予定の国において日本からの入国・滞在制限がなく、渡航に支障がないこと
- ・ 信頼できる受入先があり、留学先大学から受入の許可が出ること (留学・海外勉学の場合)
- ・ 渡航に際して上智大学から許可を得られること

このハンドブックに記載されている各種プログラムやスケジュールは、年度当初の予定で記載されており、今後の状況によって変更が生じる可能性があります。そのため、必ずご自身で最新の情報を My Sophia、WEB PILOTI、ガイダンス等で確認してください。

1 留学中の留意点

A 危機管理

自然災害、感染症、テロ、交通事故、暴力犯罪等に留学生が巻き込まれる可能性は常にあり、実際に本学学生が事故や盗難の被害などに遭ったケースも報告されています。防ぎきれない突発的なケースがある一方、「自分の身は自分で守る」という意識を持って渡航し、日ごろから各自が注意することで未然に防止できる事件・事故も多くあります。危機意識を常に持ち、現金や貴重品の取り扱いに注意する、暗い道の一人歩きは避ける、危険地域には近づかない、SNS上で個人の活動動向が容易に特定できるような発信は控えるなど、留学中は日本で生活する時以上に安全に注意して行動することが大切です。

渡航先の治安・医療事情の最新情報は出発前に必ず入手してください。また、現地警察・滞在先の在外公館の電話番号、保険会社の連絡先、留学先大学の緊急連絡先などは常に携帯しておくといざというときに役立ちます。

①上智大学の海外留学、派遣プログラムの実施判断基準

上智大学で公式に実施する派遣留学プログラム（長期の交換留学や短期プログラム等）では、渡航地域は危険情報・感染症危険情報の発出がない地域もしくはレベル1「十分注意してください」までです。危険レベル2以上の場合は、プログラムの取りやめを判断しています^(*)。また、現地の情勢悪化等があれば、派遣者の安全を優先し、現地状況を確認のうえレベルに関わらずプログラム実施の取りやめを判断することもあります。最新の大学方針を本学HPで確認してください。

自身で留学・渡航計画をする際も、外務省の危険レベル2以上の地域への渡航は認められないことを念頭に、留意して計画を立ててください。

【外務省海外安全ホームページ】 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

安全な渡航・滞在のための情報を国・地域別に掲載しています。現地情勢や感染症の発生状況、安全対策の目安を4つのカテゴリ（次ページ参照）に分けて掲載しているほか、対象者ごとのお役立ち情報もあり、渡航先、滞在先の危険レベル、安全情報の収集に役立ちます。

同一国内でも地域により状況は大きく異なります。渡航前には現地の治安情報、渡航ルートの安全状況も十分考慮のうえ留学計画を立てるようにしてください。

【外務省世界の医療事情】

各地域の衛生医療事情やかかりやすい病気や怪我、および健康上の留意点、予防接種情報等が記載されています。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>
 P.14の情報リストを参照しましょう

【外務省の危険レベル】

危険レベル	説明
発出なし	危険情報や感染症危険情報は出ていなくても、「安全」というわけではありません。最新のスポット情報や安全対策基礎データ等を参照の上、安全対策に心がけてください。
1 「十分注意してください。」	その国・地域への渡航、滞在に当たり、危険を避けていただくため特別な注意が必要です。 [大学が学生の渡航を認めるのは原則このレベルまで]
2 「不要不急の渡航は止めてください。」	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航時は特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。
3 「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。（現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。）
4 「退避してください。渡航は止めてください。（退避勧告）」	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。



②危機管理ガイダンス

学期中には、各種留学プログラム参加者向けの危機管理ガイダンスを実施しているほか、私費留学や課外活動、学会参加等の海外渡航者も対象の「安全管理ガイダンス」を実施していますので、渡航前に参加してください。

③渡航時の対応必要事項

留学中滞在先および連絡先の周知

留学期間中の緊急連絡先（現地の寮の電話番号、メールアドレス等）は家族、日本の知人、大学関係者（現地および本学）に必ず知らせてください。また、留学中に旅行で宿舎を長期間不在にするときや転居する場合も必要などところに必ず連絡してください。日本にいる家族・知人はあなたが思っている以上に心配しています。こまめな連絡を忘れないように心がけ、滞在国や地域で事件や事故、災害などがあつた場合は、自分から家族へ連絡し、無事を知らせてください。

在留届とたびレジ

3カ月以上海外に在留する日本人は法律により最寄りの日本大使館・領事館に「在留届」を提出することが義務付けられています。留学先到着後速やかに手続きが必要です。

「たびレジ」は、海外に3カ月未満滞在する際に登録すれば、滞在先の最新の渡航安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、いざという時の緊急連絡などが受け取れる外務省の海外旅行登録システムです。3カ月未満のプログラムに参加する方や留学先から第三国へ旅行する際には、旅行日程・滞在先・連絡先等を必ず登録してください。（「在留届」を提出する場合は必ず登録されます）



たびレジ

B 大学指定保険および危機管理サービスへの加入義務について

交換留学をはじめ、海外渡航プログラムに参加することは、長期・短期を問わず語学力の向上や異文化対応能力を身につける絶好の機会となります。その一方で、安全で衛生管理の行き届いた日本社会に暮らす私たちには予想できないような環境や、不測の事態に対応しなければならないことも起こりえます。

上智大学ではこうした事態に対応できるよう、学生のみなさんの海外渡航時の危機管理体制を構築・運用しており、大学に届出を提出して海外渡航する学生のみなさんには全員、大学の指定する保険ならびに危機管理サービスに加入することを義務づけています。

●対象者

大学が関知するすべての海外渡航プログラムに参加する学生

(個人的な旅行などを除き、大学に届出を提出して海外に渡航する者。

一般留学や休学留学、その他下記に記載の渡航も含まれます。)

No.	対象者
1	大学主催の海外でのプログラム(交換留学、在外履修、グローバル教育センターが実施する海外短期プログラムやインターンシップ科目等)
2	私費留学(一般留学や休学中の海外勉強)
3	教育・研究を目的とする海外渡航:「教育・研究を目的とする学生の派遣について(届)」を提出するもの(学会参加、フィールドワーク、大学主催以外のインターンシップ、研究機関での研究受入、ゼミ合宿等)
4	課外活動など大学への届け出が必要な短期の海外渡航

海外での課外活動の実施は加入の要否を確認しますので、まずは学生センターに問い合わせください。

●大学指定保険ならびに危機管理サービス

本学では海外旅行保険と危機管理サービスについて、三井住友海上火災株式会社と日本エマージェンシーアシスタンス株式会社(EAJ)と企業包括契約を締結しています。

大学で実施するプログラムの他、一般留学や休学留学、学会等で大学宛に届け出のある海外渡航では全員下記aとb両方への加入が必要です。

渡航予定日の3週間前までにグローバル教育センターへお問い合わせください。

〈上智大学海外渡航支援制度〉 問い合わせ先: グローバル教育センター

a. 三井住友海上火災海外旅行保険(SOPHIA 海外留学保険)

b. 危機管理サービス(OSSMA/オスマ)

同補償内容の海外旅行保険に比べ保険料が抑えられます。また、提携先との連携により、24時間365日対応の本学学生・保証人の方からの事故その他事項の相談用窓口を設け、海外渡航中のサポート体制を用意しています。

※加入手続には5営業日必要です。

C メンタルヘルスについて

上智大学には様々な留学プログラムがあり、目標や希望に沿った留学を選ぶことができます。留学を考えている皆さんは、海外で生活するご自身の姿を想像し、希望や期待に心を躍らせていることでしょう。

さて、準備を進める際、留学先で体調を崩すことは想定しても、「自分が心の調子を崩す」ことを想像することは少ないかもしれません。実際は、落ち込みや不安、ストレスがきっかけとなる心の不調を経験することは、誰にでも起こり得ることで。準備の段階や留学先で心がけられることを以下に紹介しますので、試してみてください。

渡航前に、留学の目的や目標を大小、複数持ちましょう。思うようにならないことはどうしてもあります。一旦は落ち込んでも、他の目標や目的は、元気が出てきたときにやる気を助けてくれるでしょう。

心身のストレス反応に気づくことも大切です。不調を感じ始めた時、自分の変化に気づくことができれば、対処できることもあります。大きな負荷がかかった際の反応は、人それぞれです。どんな反応を経験しやすいか、留学準備の段階で振り返り、考えてみてください。身体面(不眠、過眠、食欲不振、過食、腹痛、頭痛、回復しない疲労感)、感情面(不安、イライラ、焦り、強い緊張、落ち込み、孤独感、無気力、無力感、自責感など)、行動面(自室にこもる、人や物に当たるなど)に注目してみます。

その上で、ストレスへの対処として、どういったことが自分にとって気分転換になるか、セルフケアになるか、意識してみましょう。例えば音楽を聴く、授業と関係ない本を読む、身体を動かす(散歩、ジョギングなど)、自然に触れる、親しい人と話す、意識的に早く寝るなどです。SNSはかえって負担になることもあります。状態によっては、思い切って見るのを控えることも考えてください。事前に留学先のコミュニケーションや対人関係の特徴を知ること、先輩の体験談を読むことも、渡航後の助けになるかもしれません。

現地到着後しばらくは、生活に慣れることが大切です。起床後カーテンを開ける、適切な食事や睡眠をとるなどを心がけてみましょう。最初は、多少不安があっても、新しい環境に慣れようと、エネルギーや行動力が自然と湧くかもしれません。慣れてくると、うまくいかないことで落ち込むことも経験するかもしれません。ストレス反応に気づいたら、焦らず、気分転換やセルフケアを実践します。わからないことをそのままにしたり誰かが教えてくれるのを待つのではなく、自分から質問したり人に働きかけたりする、自室に1人でこもらないなども意識してみてください。

自分なりに対処しても、落ち込んだ状態や孤独感、無気力などから抜け出せない、夜眠れない、食欲がない、疲労感が回復しない、勉強に集中できない、人との接触や交流を避けるなどの状態が続く場合は、早めに家族や友人、専門家などに相談し、自分ひとりで抱え込まないようにすることが大切です。

メンタルヘルスに関して、渡航前であれば学内のウェルネスセンター(健康支援)やカウンセリングサービスで相談することもできます。渡航後は、留学先の留学生支援担当者に相談し、適切な相談先を紹介してもらいましょう。

2 留学のための英語能力試験

A TOEFL iBT® テストについて

TOEFL iBT®テストは、アメリカの教育団体ETSを運営母体として、大学の授業で実際に使う英語能力を「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能で測ります。このテストでは、授業と同じように、受験者が教科書の抜粋を読んだり、講義を聞いたりした後、それを基に話したり書いたりします。テストは100%学術的な設問や課題で構成されるため、多くの大学で入学選考や留学生の受入に利用されています。

名 称：TOEFL iBT®テスト
主 催：ETS <https://www.ets.org/toefl>
問い合わせ先：ETS Japan 合同会社 TOEFL®テスト日本事務局
<https://www.etsjapan.jp/>

受 験 料：US\$ 195 (受験日の7日前まで)
構 成：Reading, Listening, Speaking, Writingの4セクション
所 要 時 間：約2時間

結 果：受験日より約6日後にオンライン上の自分のアカウント (My TOEFL Home) でスコアの確認が可能になります。発送されるスコアレポートにはETSから教育機関に送付される Official Score Reports と本人控えとして送られる Test Taker Score Report の2種類があります^(※1)。Test Taker Score Report は本人が希望した場合のみ発行されます。ETSからスコアレポートが発行されるのは試験日から約4~8日後です。
採点処理はETSで行われるため、結果到着が前後することもあります。日程に余裕を持って受験してください。

スコア：TOEFL iBT®テストのスコアは1~6 (0.5刻み)^(※2)。公式スコアの有効期間は受験日から2年以内。公式スコアの有効期間内はETSから教育機関へスコアを直送してもらうことが可能で、大学によってはこの方法でのスコア提出を求められます。
®=登録商標のこと

- ※1 交換留学プログラムの学内選考では、Test Taker Score Report のデータで受験可。
※2 2026年1月20日以前に受けた試験のスコアは、有効期限内は0~120のスコアレポートで提供されます。

B IELTS について

IELTSは、イギリスのブリティッシュ・カウンシルとケンブリッジ大学英語検定機構、オーストラリアのIDP：IELTSオーストラリアが共同運営の上、海外留学や研修のために英語力を証明する必要がある場合に多く利用され、イギリス、オーストラリア、カナダ、ニュージーランドのほぼ全ての高等教育機関で認められている試験です。「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能で英語能力を測ります。日本国内では複数の団体が実施運営しています。
※イギリスへ留学する場合には、IELTSスコアが必要になります。

名 称：IELTS (International English Language Testing System)
問い合わせ先①：公益財団法人日本英語検定協会 IELTS事務局
<https://www.eiken.or.jp/ielts/>

問い合わせ先②：一般財団法人日本スタディ・アプロード・ファンデーション (JSAF)
<https://www.jsaf-ieltsjapan.com/>

問い合わせ先③：バークレーハウス
<https://berkeleyhouse.co.jp/ielstestcentre/>

問い合わせ先 (その他)：ブリティッシュ・カウンシル (<https://www.britishcouncil.jp/exam/ielts>) などでもテスト実施や情報提供をしていますので参照してください。

受 験 料：1人1回あたり27,500円 (税込) ~ (運営団体により異なる)
実施日程・申込締切・結果発送時期：各テストセンター、実施形式で異なるため、各々確認すること

構 成：Writing (60分), Reading (60分), Listening (30分 + 解答転記時間10分), Speaking (11~14分)

※交換留学出願のためには、「アカデミック・モジュール」を受験してください。

スコア：1.0~9.0まで0.5刻みのバンドスコアで表示。成績証明書 (Test Report Form) には、各技能のバンドスコアと、総合評価としてオーバーオール・バンド・スコアの計5種類のスコアが表示されます。公式スコアの有効期限は筆記テスト実施日から2年以内となります。

3 留学費用について

A 滞在費について

留学先の地域、滞在期間、留学先(大学、語学学校等)、滞在先宿舎や休暇中の過ごし方および為替レートによっても変わりますが、滞在費として概ね下記の金額が目安となります。

1年間留学する場合： 200～400万円程度

1学期間留学する場合：100～200万円程度

※交換留学の場合、留学先大学での授業料は免除されます。→P.30参照

私費留学(一般留学・休学)の場合、上記金額のほかに留学先授業料が必要となります。

滞在費以外でも、出発前に必要な経費もあります。留学前に全滞在期間中の留学費用の支弁証明書を求められることも多いので、十分な資金計画を立ててください。滞在費以外に必要なもの

(例)

- 渡航費用、ビザ取得費用、渡航先で加入が求められる保険(国や大学による)
- 健康診断、予防接種費用
- 海外留学保険・危機管理サービス加入費用 等

B 海外勉学中の上智大学学費について

形態	学費
・交換留学 ・一般留学(1年以内)	留学中も在学生として通常通り本学の学費が請求されます。 ・留学中の本学での在籍状態：交換留学／一般留学(1年以内)＝「留学」 ※修学奨励奨学金や新入生奨学金などの学費減免系の奨学金または国による高等教育の修学支援新制度を受給している場合は、留学前に学生センターに相談してください。
1年を超えて留学する場合	一般留学の継続または交換留学後に一般留学に切り替えた場合、または複数の交換留学プログラムに参加したことにより留学期間が1年を超えた場合は、一部減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。
・海外短期語学講座 ・海外短期研修 ・実践型プログラム	通常通り本学の学費が請求され、参加には別途プログラム費用がかかります。(一部プログラム費用が免除となるコースもあり)
インターンシップ科目(長期/短期)	長期、短期ともに通常通り本学の学費が請求されます。
休学して留学	本学学費の減額措置があります。 詳しくは学事センター学費担当にお問い合わせください。

*本学ウェブサイト参照：<https://piloti.sophia.ac.jp/jpn/tuition/gakuhiengenngaku>

C 奨学金について

世界情勢に伴い、留学奨学金取り扱いにも変更が生じる場合があります。各奨学金の募集前には掲示が出ますので、My SophiaやWEB PILOTIで最新情報を確認してください。

留学に関する給付奨学金(返還不要)は、大きく分けて①公費奨学金(日本および各国の政府関係機関等から)、②民間財団基金や企業等の奨学金、③本学および留学先大学の奨学金の3種類があります。応募方法は、大学を通じて応募するものと個人で直接応募するものがあります。

大学を通じて応募する奨学金

下記奨学金は、本学で選考を行うものおよび本学から推薦された後に奨学金支給団体による選考が別途行われるものです。その他の奨学金がある場合は、可能な限り、募集情報をMy Sophia等でお知らせします。

名称	対象	支給内容	条件等
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(協定派遣)奨学金	交換留学生	地域によって 月額8-12万円 渡航支援金(条件有)	交換留学期間内選考合格者を対象に募集。時期によっては割当がない場合もある。本学からは2025年度は年間170名採用。
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(大学院学位取得型)奨学金	インターンシップ科目(海外実習先)	地域によって 月額8-12万円 渡航支援金(条件有)	JASSOより採択されたインターンシップ科目の参加者のうち、定められた条件を満たす者へ支給される。本学からは2025年度は年間3名採用。
海外留学奨励費	「一般留学」者	上限15万円 (1クォーターあたり)	「一般留学」の形態で留学する者。留学先の学費などが本支給額上限を下回る場合、留学先の学費相当額を支給
日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度(大学院学位取得型)奨学金	上智大学卒業後、海外の大学院にて修士・博士の学位取得を目指す学生	地域により154,000円～356,000円(授業料は月額奨学金に含まれる)	成績・語学力の基準、年齢制限あり。本学からは2025年度は6名採用。
ケルン奨学金	ドイツのケルン大学に留学する交換留学生	月額900ユーロ	交換留学期間内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
よしや アイリーン 吉彌・愛琳 アイルランド留学奨励費	アイルランドへの交換留学生	15万円	交換留学期間内選考後、派遣決定者の中から選考。年間1名採用。
大坂ドイツ留学奨励費	ドイツへの交換留学生	10万円	交換留学期間内選考後、派遣決定者の中から選考。年間3名採用。

名称	対象	支給内容	条件等
大学の世界展開力強化事業後継事業 (SAIMS / LAP) 留学奨励費	SAIMSプログラム またはLAPの 交換留学生	渡航支援金5万円	原則、1大学につき1名に支給。
グローバルリーダー養成奨励費	海外短期研修 参加者 / 交換留学生	5~15万円	指定のプログラムで留学する者。 2026年度は海外短期研修参加者を 対象に支給予定。
上智大学篤志家 (理工学部同窓会) 奨学金	理工学部開講の 海外短期研修 参加者	8万円 (予定)	出願先：学生センター 対象：同プログラムに参加する理工 学部および理工学研究科の学生。 出願時期や出願方法についてはMy Sophiaを見ること。詳細は学生セン ターに問い合わせること。
ソフィア会 留学支援奨学金	長期：交換留学生 短期：海外短期語 学講座、海外短期 研修、実践型プロ グラム	交換留学：JASSOに準 ずる。地域によって月額 8万~12万円 短期・実践型：プログラ ムにより10万~40万程 度	上智大学の全学同窓会組織である上 智大学ソフィア会からの寄付により 設立した奨学金。要件、募集時期は 対象者に別途案内する。 2025年度実績： 交換留学 (長期) 5名 短期プログラム (短期) 7名
叡智が世界を繋ぐ 留学奨励費	短期：海外短期語 学講座、海外短期 研修、実践型プロ グラム、インター ンシップ科目	25年度はプログラムに よる月額3~18万円	2025年度実績： 短期プログラム (短期) 78名 ※ インターンシップ科目 (海外実習者) を含む
SCS(ソフィアキャ ンパスサポート) 留学奨学金	海外大学院との 3+2プログラム	1人当たり50万円	学内選考合格後、対象者に案内の 上、応募者に対して支給
	海外短期語学講 座、海外短期研 修、実践型プロ グラム	プログラムにより 8万円~10万円	奨学金の用途やプログラム参加の目 的、今後の学業目標などを総合的に 判断 2025年度実績：60名

その他、募集のある奨学金はMy Sophiaに掲示します。

また、学生センターでは以下の留学中貸与奨学金 (日本学生支援機構) の募集を行っています。出願要件・期間等の詳細は学生センターに問い合わせてください。

- ・「留学時特別増額貸与奨学金」(第一種又は第二種の貸与を受けている奨学生)
- ・「第二種奨学金【海外】」(海外大学・大学院への進学者が対象、有利子)

個人で直接応募できる奨学金

My Sophiaや日本学生支援機構のホームページを参照してください。

<https://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>



General Information on Study Abroad



University Policy on Sophia Students' Overseas Travel

As Sophia University prioritizes student safety, regardless of whether the program is university-sponsored or not, overseas travel is permitted only if both the Ministry of Foreign Affairs (MOFA) travel alert level and infectious disease alert level are Level 1 or below.

Private study abroad (including general study abroad or leave of absence for overseas study) and short-term overseas travel for education/research (e.g., conferences, fieldwork, research stays, seminars) are strictly prohibited for countries/regions with MOFA Level 2 or higher, regardless of circumstances.

General Information on Study Abroad for Students in English-taught Undergraduate/ Graduate Programs

Degree students enrolled in the programs where English is the medium of instruction, such as FLA (Faculty of Liberal Arts), FST (Faculty of Science and Technology), SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures) etc. may study abroad for long term through the Sophia Exchange Program or the General Study Abroad Program.

Students in those programs are regarded as being enrolled at Sophia while abroad, and may study abroad for one quarter or several quarters (depending on the program) without taking a leave of absence. Also credits from an approved overseas institution may be transferred back to Sophia.

◎ Overview of Study Abroad from Sophia

Degree-seeking students who meet requirements for participation are eligible. Some short-term programs require proficiency in Japanese. For details, please see application documents from the past available at Loyola / My Sophia.

Long-term

① Sophia Exchange Program

Eligibility: Second-year students and above (in some cases, applications for internal selection may be possible from the second semester of the first year). For details, refer to P. 64.

② General Study Abroad

Eligibility: Second-year students and above

Students who plan to study abroad on their own at a degree-awarding institution and wish to transfer the credits back to Sophia must apply in advance to the General Study Abroad Program. They should have finished at least 4 quarters and obtained more than 32 credits at Sophia by the time they begin their General Study Abroad Program (For graduate students, 10 credits or more are required). "Request for Study Abroad" (留学願) must be submitted 1 month prior to the start of study abroad and by the day before the first day of the quarter. General Study Abroad students may study abroad for one quarter or more quarters (in total up to 4 quarters). If students wish to extend the period, they can reapply for the study abroad program (in total up to 2 years). In this case, only one year is considered as residence requirement. Credit transfer arrangements are the same as those for the Exchange Program. Students must apply independently for an approved institution and arrange their own accommodation.

If you wish to change your General Study Abroad Program to a study abroad by leave of absence, you must submit "Notification for Resumption of Studies" (復学届) before the first day of the quarter. Then you must submit a request for leave of absence by the deadline.

Scholarship for General Study Abroad : JPY 150,000/quarter
For application details, refer to My Sophia.

Questions and consultations to :

- Destination selection and course planning:
Chairperson/Academic Advisor of Department
- Credit transfer and application for General Study Abroad:
Center for Academic Affairs
- Options for program fee reduction, University's travel policy:
Center for Global Education and Discovery

③ "Leave-of-Absence" for Study Abroad

Eligibility: All year levels

This refers to studying abroad while taking a leave of absence from Sophia University, with no restrictions on the destination. Tuition during the leave period will be reduced; however, the leave period does not count toward the required years of study, so graduating in four years (for undergraduate) will not be possible.

Even if you earn credits at the host institution during your leave, they cannot be transferred to Sophia University.

Short-term Refer to P. 67

[Important]

Article 40* of University Regulations (for undergraduate students only) :

Students who fail to obtain 32 credits or more including subjects specified by undergraduate departments in two consecutive academic years** shall be dismissed from the university.

*Preferential Measures

Upon deliberation by the faculty meeting and with an approval from the president, a student who is in the third-year or above, and who has taken less than 32 credits in two consecutive academic years may be exempted from expulsion by Article 40, if the total number of credits taken divided by the number of total years of enrollment is more than 16 credits. In this case, the academic year which includes the period of leave of absence is not counted in the total period of enrollment but the credits earned shall be included in the total number of credits taken.

In the case of the students of the FLA, the English Programs in FST, and SPSF, the total number of credits earned divided by the number of semesters of enrollment should be more than 8 credits.

***"Two consecutive academic years" refers to two academic years of enrollment. If the student takes a leave of absence, the academic year that includes the period of leave of absence will not be counted as a part of the "two consecutive academic years," and instead, the academic years before and after the year of leave of absence will be considered as those "two consecutive years." (For FLA, FST (Green Science, Green Engineering) and SPSF students, four semesters excluding the semester on leave of absence will be regarded as "two consecutive academic years.")

◎ Information Available on Loyola and My Sophia

Loyola

- Information on applications for Sophia Exchange Program
- Information sheets of exchange partner institutions
- Reports written by former exchange students

My Sophia

- Other study abroad programs sponsored by Sophia University
- Scholarships for study abroad etc.

◎ Credit Transfer

For the undergraduate students, up to 30 credits obtained at the host institution can be transferred to Sophia, subject to approval by the chairperson of each student's department.

Graduate students should inquire at the Center for Academic Affairs about credit transfer.

The transfer factor for credits basically depends on time spent in class. 675 minutes constitute one credit at Sophia. In the case of a foreign language class or seminar, 1,350 minutes are regarded as one credit. Credits should be calculated to the first decimal place.

The formula is as follows:

$$\text{minutes of the class} \times \text{times per week} \times \text{number of weeks} \div 675 \text{ (or 1,350)} = \text{number of the credits which may be transferrable to Sophia}$$

In some cases, transferred credits may be combined together: for example, 4.5+4.2+3.2+0.9 credits may be combined together as 12 credits.

Required Documents for Credit Transfer

The following documents should be submitted to the Center for Academic Affairs within three months after returning from overseas.

- ① Credit transfer application form and calculation form (available on My Sophia, Academic Affairs "Download Application Forms")
 - ② Documents issued by the host university
 - Official transcript (original in English)^{※1}
 - Document which shows the grading system (may be indicated on the official transcript)
 - Course descriptions / syllabus
 - Course schedule
 - Academic calendar
- ※1 Official transcript must be submitted in one of the following ways.

1. Official transcripts (Hard copy) *Must be the original copy
2. Official transcripts (Soft copy) that are directly sent to Sophia University. *Soft copies that are sent directly to students are not accepted. It will be the student's responsibility to ask the host institution to send the soft copy to the relevant address noted below, depending on the participated program.

【Sophia Exchange Program】

Send to: Center for Global Education and Discovery
E-mail: outbound-co@sophia.ac.jp

【Short-term Program (UCLA, ESSCA)】

Send to : Center for Global Education and Discovery
Email : short-outbound-co@sophia.ac.jp

【General Study Abroad】

Send to: Center for Academic Affairs
E-mail: academic_affairs_transfer_2-co@sophia.ac.jp

*This email is only for receiving official transcripts. Do not send any message regarding other inquiries or documents. Also note that application for credit transfer cannot be completed via email. Please visit the Center for Academic affairs in person with other required documents.

- * To transfer credits for the language courses, documents such as syllabus and textbooks are necessary to check the content of the course. If you were placed in an appropriate level at the host institution, level of the language course taken while abroad do not need to be the same as the level of courses taken at Sophia. If you have any question, please consult with the Center for Academic Affairs.
- * To transfer credits for courses such as "tutorials" and "independent study", please obtain syllabus that include details and outlines of the course, with specification of tasks and reports that were required.

Online courses can be transferred (courses without a specified class schedule cannot be transferred).

Note that class schedules of online courses will be required to transfer the credits.

Please note that the credit transfer procedure usually takes one month after submission, and the completed documents must be submitted in time to be transferred for each semester.

Application period to transfer credits into : Spring Semester 2026 : Jan. 20 (Tue.) to Jul. 17 (Fri.), 2026 Autumn Semester 2026 : Jul. 20 (Mon.), 2026 to Jan. 18 (Mon.), 2027

- Applications will not be accepted during the course registration period and final examination period.

- On the official transcript, the approved credits are listed as “Transfer Credits from Abroad”. These credits are marked with a grade “N” and are not included in GPA calculation.
- When the credit transfer is approved, you will be notified via My Sophia. Please come to the Center for Academic Affairs to pick up the copies of the approved documents. Please note that you will not be able to make any changes on transferred credits, once approved.

◎ Tuition and Fees During Study Abroad

Exchange students will pay tuition and fees only to Sophia*¹, but General Study Abroad students must pay tuition and fees both to Sophia and to the overseas institution. Travel and living expenses should be covered by the students. The cost will vary greatly depending upon the destination, currency exchange rates, the student's life style and how they spend the holidays.

For scholarships, please see P.56, 57 for details*².

*¹If exchange students participate in a language program of the host university before the regular courses start, they are responsible for the tuition fee for the course. This also applies to spring and summer session programs at the host university.

*²Please note that applicants must have the valid status of permanent residency “永住許可” or “特別永住許可” for some scholarships.

NB : For tuition support scholarships while studying abroad, contact the Center for Student Affairs (1F, Bldg.2) .

For tuition and other fees for the second year in study abroad, contact the Center for Academic Affairs (1F, Bldg.2) .

◎ University-designated Study Abroad Insurance and Crisis Management Service

All Sophia students planning to study abroad (including those by General Study Abroad Program or by leave of absence) are required to purchase a university-designated study abroad insurance and crisis management service for the period between leaving Japan and coming back to Japan. Insurance fees must be paid at the responsibility of a student, but at a discounted price. Please visit the Center for Global Education and Discovery at least three weeks before departure to receive insurance information.

◎ Sophia Exchange Program Application Procedures

【Program Offered】

As of March 2026, 349 destinations for exchange program are available to Sophia students (see P.71) .

Applications for some institutions may not be accepted every year depending on the exchange balance of the incoming and outgoing students.

Information sheet of each institution and other materials are available on Loyola.

【Advantages of Participation】

Exchange students can study abroad either one semester (2 quarters) or one year (4 quarters) without taking a leave of absence.

Therefore graduating from Sophia in 4 years for the undergraduate students and in 2 years for the master's students (depending on the situation) including the period of study abroad may be possible. Once they are selected as exchange candidates, the Center for Global Education and Discovery will assist with the application procedures of the prospective host institution.

【A】 Application Schedule

Application deadlines and selection dates depend on the areas where the host universities are located*, but, internal selections, required for all exchange students, are usually conducted about 10 months before the departure for study abroad.

Information on exchange partner institutions (P.71~) are subject to change without notice.

Please refer to Loyola and My Sophia for the most updated information.

* Spring Departure : End of May to early June of the year before

Autumn Departure : End of September to early October of the year before.

【B】 Eligibility and Requirements

- Grade Point Average of 2.8 or above
- Sufficient language proficiency to study abroad
- Financial backing
- Undergraduate students who plan to apply for exchange program must have finished at least 3 semesters and earned 32 credits or more by the end of the semester before study abroad. (In case of FLA, FST, or SPSF students, 32 credits must be earned in four consecutive semesters before the start of the exchange program)
- For graduate program students, 10 or more credits are required.
- Completion of a medical check-up held by Sophia every year. Students may not be allowed to study abroad depending on the results of medical check.
- Purchase a university-designated travel insurance and crisis management service (approx. ¥150,000/year) at Sophia for participation.

【C】 Notes of Importance

For further details, please consult the Center for Global Education and Discovery in advance.

- (1) After internal screening at Sophia, nominated students will be screened by the host universities. For students with the GPA below 3.0, the risk of rejection by the host universities becomes higher than those with the GPA 3.0 or above, depending on destinations.
- (2) Number of Semesters to be Completed at Sophia Before Going on Exchange
For each partner university, the eligible year of study for participation in the exchange program is predetermined. Students in their first year are not allowed to apply to universities that only accept students in their third year or above. Although first-year students may apply to universities that accept students in their second year or above, they must have been enrolled at Sophia University for at least one semester after admission and must be able to submit their academic transcript within the application period (For the

eligible year for each partner university, refer to the information from the past year posted on Loyola "Study Abroad Information.") For exchange programs starting in the spring semester, those who entered in the autumn semester may have a chance to apply for the universities indicated as "3" (i.e. Students may be able to go on exchange from their 4th semester in some cases).

(3) Graduate Students who Wish to Apply for the Exchange Program

Some exchange partner universities do not accept graduate students, and the office needs to make inquiries about individual case to a host university in advance. Please submit the required form by the deadline designated in the application guideline.

(4) Period of Study Abroad

Period of study abroad will be either one year (10-12 months) or one semester (4 months). Students cannot change the period of exchange program after the results of the internal selection are finalized. However, if the academic calendar of the host university ends before the second / fourth quarter of Sophia University, students may shorten their exchange period to take classes offered in the second or fourth quarter (only applicable to one-year exchange students). A separate application must be filled in for "General Study Abroad" or "Leave of Absence" when a student wishes to continue to study abroad after the exchange period. Students can only participate in the exchange program once, except in case of combining SAIMS / LAP program and exchange program.

The maximum period allowed to be included into the residence requirement (8 semesters) in case of combining the exchange program and SAIMS/LAP is also up to one year only.

[D] Application Materials

(1) Certificate of Language Proficiency (medium language of Study Abroad)

● English

Each institution has the minimum language requirement. TOEFL iBT® or IELTS score report that meets the language requirements of the preferred host universities is required.

● German

Applicants from departments other than Dept. of German Literature or German Studies should submit one of the following :

- 1) Certificate of the German Diploma in Japan ("準一級" Oberstufe or above)
- 2) Certificate of the Goethe-Institut examination (B1 or above)
- 3) Letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the German language

● French

Applicants from departments other than Dept. of French Literature or French Studies should submit one of the following :

- 1) Certificate of DELF B1 or TCF B1 or DAPF level 2 (仏検2級) or above

- 2) Letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the French language

● Spanish

Applicants from departments other than Dept. of Hispanic Studies should submit one of the following :

- 1) Certificate of DELE B1 or above
- 2) Letter of recommendation from an instructor of Sophia which indicates applicant's level of language proficiency in the Spanish language

● Italian

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Italian speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Italian language.

● Portuguese

Applicants from departments other than Dept. of Luso-Brazilian Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Portuguese language.

● Russian

Applicants from departments other than Dept. of Russian Studies should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia or certificates which indicates applicant's sufficient level of language proficiency in the Russian language.

● Chinese

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Chinese speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Chinese language.

● Korean

Applicants should submit a letter of recommendation from an instructor of Sophia who is a native Korean speaker in principle, or certificates which indicate applicant's sufficient level of language proficiency in the Korean language.

(2) Application Forms for the Sophia Exchange Program

(3) Pledge (Approval from your Guarantor and the Chairperson of the Department)

(4) Most Recent Official Academic Transcript (in English)

(5) Health Certificate Issued by Sophia Health and Wellbeing Center

Information on application procedures will be announced on Loyola and My Sophia. Please carefully read the information distributed by the Center for Global Education and Discovery.

[E] Internal Selections

- (1) Screening of application materials
- (2) Interview

The selection of the outgoing exchange students are generally conducted based upon ①GPA and ②marks at the interview.

[F] Procedures After Internal Selection

Nomination to Exchange Partner Institution

Students who pass the internal selection will be nominated to a partner institution. The nomination from Sophia does not guarantee the acceptance from the host university. The host university will determine acceptance / rejection of the nominee based on its screening process.

The following conditions must be met in order to study abroad as an exchange student;

- (1) To be officially accepted by an exchange partner institution
- (2) To keep grade point average of 2.8 or above after internal selection
- (3) To maintain good health in their mental and physical condition.
- (4) To purchase the university-designated insurance and crisis management service.

Documents to be submitted

- Application form for Study Abroad, Pledge, etc.
The Center for Global Education and Discovery will inform the successful students of necessary paperworks. Housing arrangement will be made through host institution in most cases, but in some cases, students may need to look for a room on their own. Residential situations differ depending on regions or institutions.
- Required documents by host universities:
(e.g.) application forms, recommendation letter, transcript, financial statement, health form including immunization records, official language certificate*, etc.

*Some exchange partner institutions require the official score report after Sophia selection. It is therefore desirable that the score has enough remaining period of validity.

- For graduate students, official scores of GRE or GMAT might be required after Sophia selection.
- Exchange students must submit a “Report on Study Abroad ” within one month after returning to Japan.

◎ Sophia Short-term Programs

Short-term study abroad opportunities are offered during the summer and spring vacation periods, categorized into three types: **Short-term Language Programs**, **Short-term Study Abroad Programs**, and **Social Engagement Programs**.

Note: Participation may require proficiency in Japanese at a conversational level.

① Short-term Language Programs

This program allows students to participate in language courses organized by language schools affiliated with our partner institutions under exchange agreements. The goal is to enhance language proficiency.

● Programs Offered During Summer Vacation (August to September)

- 6 courses in English [USA, Canada, UK, New Zealand]
- 1 course in German, 1 course in French, 1 course in Korean
- 1 course in Portuguese and 1 course in Chinese

● Programs Offered During Spring Vacation (February to March)

- 7 courses in English [USA, Canada, Australia, New Zealand],
- 1 course in French, 1 course in Spanish, 1 course in Italian, 1 course in Korean, and 1 course in Chinese

② Short-term Study Abroad Programs

In these programs, students study specialized subjects in a foreign language at prestigious universities overseas. Each program specifies the required language proficiency.

● Programs Offered During Summer Vacation (August to September)

[English]

- University of California, Los Angeles [USA]
- University of California, Davis (Science and Engineering) [USA]
- University of Notre Dame du Lac (Science and Engineering) [USA]
- SOAS University of London [UK]
- University of Oxford [UK]
- University of Victoria [Canada]

[German]

- University of Trier (For 3rd and 4th year German Language Majors) [Germany]
- Ludwig Maximilian University of Munich (For 3rd and 4th year German Language Majors) [Germany]

[Spanish]

- Pontificia Universidad Javeriana [Colombia]

● Programs Offered During Spring Vacation (February to March)

[English]

- University of North Carolina at Charlotte (Science and Engineering) [USA]
- University of Western Australia (Law) [Australia]
- Sciences Po (Paris Institute of Political Studies) [France]
- ESSCA School of Management [Hungary]

[Spanish]

- University of Deusto [Spain]

[Russian]

- Tallinn University [Estonia]

③ Social Engagement Programs

Participants are required to attend pre-departure lectures to deepen their understanding of each theme and region before traveling. This program is designed to provide participants with practical learning that goes beyond the classroom.

● Programs Offered During Summer Vacation

- GLP GLOBAL LEADERSHIP PROGRAM
- AJCU-AP SERVICE-LEARNING PROGRAM
- SOCIO-ECONOMIC AND HUMAN DEVELOPMENT STUDY OF INDIA: CASE STUDY OF KERALA MODEL
- STUDY VISIT TO THE INTERNATIONAL ORGANIZATIONS IN GENEVA
- INTRO. TO THE HISTORY & CONTEMPORARY SOCIETY OF AFRICA A
- LEARNING FROM SOUTHEAST ASIA (SHORT-TERM PROGRAM) A
- LEADERSHIP FOR A MULTICULTURAL SOCIETY
- LEARNING ETHNOGRAPHIC FIELDWORK IN INDONESIA AND TIMOR-LESTE
- "THE WORLD IS MY CAMPUS" -EXPERIENCING AMERICAN POLITICS, ECONOMY AND MEDIA-
- JAPAN IN LATIN AMERICA: NIKKEI COMMUNITIES IN PERU

● Programs Offered During Spring Vacation

- INTRO. TO THE HISTORY & CONTEMPORARY SOCIETY OF AFRICA B
- LEARNING FROM SOUTHEAST ASIA (SHORT-TERM PROGRAM) B
- UNITED NATIONS: ROLE & FUNCTIONS (INTENSIVE COURSE AT THE UN HEADQUARTERS IN N.Y)
- ESTONIA STUDY TOUR FOR SUSTAINABLE DEVELOPMENT AND EDUCATION
- JAPAN-AUSTRALIA STUDENT SUMMIT PROGRAM
- DIVERSE COMMUNITIES IN JAPAN
- FIELDWORK ON 'JAPAN' IN ASIA
- FIELDWORK IN KARNATAKA TO LEARN ABOUT MODERN INDIAN SOCIETY, CULTURE AND HISTORY

◎ Study Abroad Opportunities Towards/After Graduation

● The 5-year Concurrent BA-MA Programme (Sophia University and Overseas Graduate Schools)

Students chosen to participate in this program can receive a BA degree (3-3.5 years*) from Sophia and a MA degree (2 years) from the overseas graduate school in total of 5 or 5.5 years*, provided they successfully pass the Sophia internal selection and the official admission screening by the designated graduate program, and complete both programs in accordance with each institution's study regulations. Students will complete their first year abroad as an exchange student.

The application procedure and requirements will be announced on My Sophia.

*For those who enrolled in Sophia in April, 5.5 years in total.

For those who enrolled in Sophia in September, 5 years in total.

[Partner Institutions]

- The Graduate Institute of International and Development Studies (Geneva, Switzerland)
- Università Cattolica del Sacro Cuore (Milan, Italy)

● Special Admission for Overseas Graduate Schools

Sophia has a special admission process with several partner universities where Sophia can nominate several students to their graduate programs. Students successful in Sophia's internal selection go through selection process of each graduate school. Final acceptance/rejection is decided by each graduate school, but with Sophia's nomination, students may be able to receive some benefits such as early selection result notification, application fee waiver, etc.

Current agreements are with;

- Boston College (Lynch School of Education and Human Development)
- Georgetown University (Department of Government, McCourt School of Public Policy, School of Foreign Service Security Studies Program*)
- Fordham University (Graduate School of Arts and Sciences)
- Columbia University (Teachers College, School of Professional Studies)
- Hult International Business School

*scheduled to start from fall 2027 departure

◎ Study Option Inside Japan

● UNU-IAS Fast-track Scheme for its Master's Degree Programme

This is a second master's degree program in collaboration with the United Nations University, Institute for the Advanced Study of Sustainability (UNU-IAS) for those who have completed the master's program at Sophia University Graduate School. By taking courses related to the UNU-IAS program, joint diploma courses, and intensive courses while enrolled at Sophia University (regardless of the graduate program), students can participate in the Research Seminar immediately after entering UNU-IAS and complete the master's program in a shorter period.

Center for Global Education and Discovery (1st fl, Bldg. 2)

Office Hours: Monday - Friday 10:00-11:30 & 12:30-15:30*

*During summer and spring recess: Monday - Friday 12:30-15:30

*The office will be closed on designated school holidays.

(Check the university's academic calendar and official website for the holidays)

交換留学協定校一覧

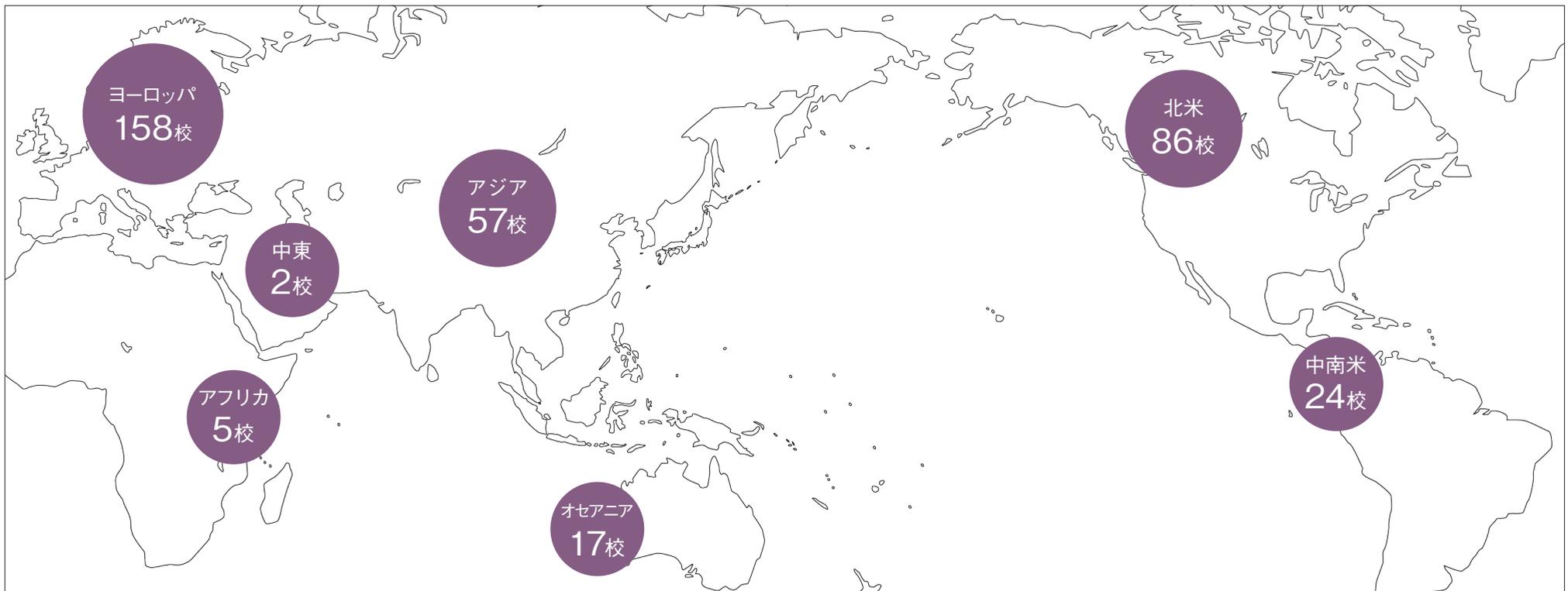
次ページから掲載されている一覧は留学先大学教授言語により分かれており、国順で、各言語で留学に必要なとされる語学能力について記載されています。学内選考出願時に必要な各大学ごとの留学可能年次、GPA、語学要件の参照方法は、Loyola「留学関連情報」に掲載される募集要項等を参照してください。

大学公式HPのWEB PILOTI (HOME>グローバル化の取り組み>海外協定校一覧) から各協定校のホームページにアクセスすることができます。



2027年度出発交換留学の募集の有無は全ての大学で2026年4月1日現在未定です。また、掲載されている協定校は2026年3月1日現在の情報です。内容変更等については随時お知らせしますので、最新情報はLoyolaで必ず確認してください。

※複数言語、複数キャンパスで募集する協定校については、学部／分野などによって提供さ



れる言語・キャンパスが異なります。出願時に必ず自身で確認してください。

1) 出発時期

出発時期 (春学期出発または秋学期出発) 別に示しています。

各出発時期別の願書配布から留学開始までの学内選考の大まかなスケジュールは、P.26のA. 募集時期の表を参照してください。

2) 留学可能年次、語学要件、GPA

留学可能な年次や、必要な語学要件、GPAは協定校によって異なり、募集年度によっても変更になる可能性があります。

※春出発の対象大学は全て留学可能年次が3年次以上(5学期目以降)ですが、秋入学の学生については、2年次の春出発(4学期目)も可能な場合があります。詳細はグローバル教育センターに問い合わせてください。

※各大学の要件については、Loyola>留学関連情報の交換留学募集要項・出願書類を参照してください。

過去の要件もLoyolaに掲載された資料で確認できます。

協定校一覧

英語

留学可能年次：2年次または3年次以上（春出発は3年次以上） ※大学により異なる

留学に必要な語学能力：

学内選考出願時に必要なスコアは希望する協定校により異なる。また、各セクションのスコア要件を求められる場合もある。語学要件を満たすスコアとして、有効期限内のTOEFL iBT®またはIELTSの公式スコアの提出が必要。受験後、スコアが手元に届くまでの時間も見込んで、早めに受験しておくこと。各協定校の語学要件等については、募集要項等を確認すること。

春学期出発（学内選考の募集：前年の6月初旬）		
所在国	大学名	所在地
Australia	Australian Catholic University	6キャンパス有
Australia	Deakin University	Geelong, Victoria
Australia	Griffith University	Nathan, Queensland
Australia	La Trobe University	Melbourne, Victoria
Australia	Macquarie University	North Ryde, New South Wales
Australia	The University of Melbourne	Parkville, Victoria
Australia	The University of Notre Dame	Freemantle, Western Australia
Australia	The University of Queensland	Brisbane, Queensland
Australia	Royal Melbourne Institute of Technology (RMIT University)	Melbourne, Victoria
Australia	The University of Sydney	Sydney, New South Wales
Australia	University of Technology, Sydney	Ultimo, New South Wales
Australia	The University of Western Australia	Perth, Western Australia
Australia	Western Sydney University	Sydney, New South Wales
Australia	University of Wollongong	Wollongong, New South Wales
Fiji	The University of the South Pacific	Suva
New Zealand	The University of Auckland	Auckland
Austria	Universität Graz	Graz
Germany	Universität zu Köln	Köln
South Korea	The Catholic University of Korea	Bucheon
South Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul
South Korea	Hanyang University	Seoul
South Korea	Korea University	Seoul
South Korea	Pusan National University	Busan
South Korea	Seoul National University	Seoul
South Korea	Sogang University	Seoul
South Korea	Sookmyung Women's University	Seoul
South Korea	Yonsei University	Seoul
South Africa	University of Pretoria, Faculty of Humanities	Pretoria
South Africa	Stellenbosch University	Stellenbosch
秋学期出発（学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬）		
所在国	大学名	所在地
Brunei	Universiti Brunei Darussalam	Bandar Seri Begawan
Cambodia	Royal University of Phnom Penh	Phnom Penh
China	The University of Hong Kong	Hong Kong
China	City University of Hong Kong	Hong Kong
China	The Chinese University of Hong Kong	Hong Kong
China	The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen	Shenzhen

秋学期出発（学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬）		
所在国	大学名	所在地
China	The Education University of Hong Kong	Hong Kong
China	The Hong Kong University of Science and Technology	Hong Kong
China	University of Macau	Macau
China	Beijing Foreign Studies University	Beijing
China	China Foreign Affairs University	Beijing
China	Fudan University	Shanghai
China	Peking University	Beijing
China	Renmin University of China	Beijing
China	Shanghai International Studies University (大学院生のみ)	Shanghai
China	Sichuan University	Chengdu
China	Tsinghua University	Beijing
China	Xiamen University	Xiamen
China	Xi'an Jiaotong-Liverpool University	Suzhou
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei City
Taiwan	National Chengchi University	Taipei
Taiwan	National Taiwan University	Taipei
Philippines	Ateneo de Manila University	Manila
Philippines	De La Salle University	Manila
Philippines	University of the Philippines	Quezon City
India	CHRIST (Deemed to be University)	Bangalore
Indonesia	IPB University	Bogor, West Java
Indonesia	Institut Teknologi Bandung	Bandung
Indonesia	Universitas Gadjah Mada	Yogyakarta
Indonesia	Universitas Indonesia	Depok, West Java
Indonesia	Petra Christian University	Surabaya, East Java
Indonesia	Sanata Dharma University	Yogyakarta
Malaysia	University of Malaya	Kuala Lumpur
Malaysia	Universiti Teknologi Malaysia	Johor Bahru, Johor
Malaysia	Universiti Kebangsaan Malaysia	Bangi, Selangor
Singapore	Singapore Management University	Singapore
Thailand	Chiang Mai University	Chiang Mai
Thailand	Chulalongkorn University	Bangkok
Thailand	Kasetsart University	Bangkok
Thailand	Mahidol University	Nakhonpathom
Thailand	Thammasat University	Bangkok
Vietnam	Foreign Trade University	Hanoi
Belgium	Ghent University	Ghent
Croatia	University of Zagreb	Zagreb
Croatia	Zagreb School of Economics and Management (ZSEM)	Zagreb
Cyprus	University of Cyprus	Nicosia
Czech	Anglo-American University	Prague
Czech	Charles University, Faculty of Arts	Prague
Denmark	Aarhus University	Aarhus
Estonia	University of Tartu	Tartu
Finland	Aalto University School of Business	Helsinki/Mikkeli

秋学期出発（学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬）		
所在国	大学名	所在地
Finland	Hanken School of Economics	Helsinki
Finland	The University of Turku	Turku
France / Hungary	École Supérieure des Sciences Commerciales d'Angers	Angers/Budapest
France	Burgundy School of Business	Dijon, Bourgogne-Franche-Comté
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris
France	Université Catholique de Lille	Lille
France	NEOMA Business School	Mont-Saint-Aignan, Normandie
Hungary	Eötvös Loránd University	Budapest
Hungary	University of Pécs	Pécs
Iceland	University of Iceland	Reykjavik
Ireland	Dublin City University	Dublin
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza
Italy	Università Cattolica del Sacro Cuore	Milano
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia
Italy	Università di Macerata	Macerata
Lithuania	Vilnius University	Vilnius
Lithuania	Vytautas Magnus University	Kaunas
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg
Mexico	Universidad Iberoamericana	Mexico City
Mexico	Instituto Tecnológico Autónomo de México	Mexico City
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey	Monterrey
Netherlands	University of Amsterdam, Faculty of Social and Behavioural Sciences	Amsterdam
Netherlands	Leiden University	Leiden
Netherlands	Rotterdam Business School	Rotterdam
Netherlands	Vrije Universiteit Amsterdam	Amsterdam
Norway	University of Oslo	Oslo
Norway	University of South-Eastern Norway	Kongsberg 他計8キャンパス
Poland	Jagiellonian University	Kraków
Poland	Warsaw University of Technology ※春学期出発もあり（理工学研究科生のみ）	Warsaw
Romania	University of Bucharest	Bucharest
Slovenia	University of Ljubljana	Ljubljana
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao
Spain	Universidad de Jaén	Jaén
Sweden	University of Gothenburg	Gothenburg
Sweden	Linköping University	Linköping
Sweden	Linnaeus University	Växjö, Småland
Sweden	Umeå University	Umeå
Sweden	Uppsala University	Uppsala
Switzerland	Franklin University Switzerland	Sorengo
Switzerland	Universität St. Gallen	St. Gallen

秋学期出発（学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬）		
所在国	大学名	所在地
Switzerland	The Graduate Institute of International and Development Studies（大学院生のみ）	Geneva
Switzerland	Zurich University of Applied Sciences ※春学期出発もあり（理工学研究科生のみ）	Winterthur
Turkey	Istanbul Bilgi University	Istanbul
U.K.	Birkbeck, University of London	London, Greater London
U.K.	The University of Birmingham	Birmingham, West Midlands
U.K.	University of Bristol	Bristol
U.K.	De Montfort University	Leicester, Leicestershire
U.K.	University of East Anglia	Norwich, Norfolk
U.K.	The University of Edinburgh	Edinburgh, Scotland
U.K.	University of Hertfordshire	Hatfield, Hertfordshire
U.K.	University of Leeds	Leeds, West Yorkshire
U.K.	Newcastle University	Newcastle upon Tyne
U.K.	The University of Reading	Reading, Berkshire
U.K.	The University of Stirling	Stirling, Scotland
U.K.	The University of Sheffield	Sheffield, South Yorkshire
U.K.	St Mary's University, London	Twickenham, Greater London
U.K.	School of Oriental and African Studies, Univ. of London	London, Greater London
U.K.	York St John University	York
Canada	University of Alberta	Edmonton, Alberta
Canada	The University of Manitoba	Winnipeg, Manitoba
Canada	McGill University	Montreal, Quebec
Canada	The University of British Columbia	Vancouver, British Columbia
Canada	University of Regina	Regina, Saskatchewan
Canada	University of Victoria	Victoria, British Columbia
Canada	King's University College at the University of Western Ontario	London, Ontario
Canada	The University of Western Ontario	London, Ontario
Canada	York University	Toront, Ontario
U.S.A.	University of Arizona	Tucson, Arizona
U.S.A.	Bennington College	Vermont, Bennington
U.S.A.	Boston College	Chestnut Hill, Massachusetts
U.S.A.	Canisius College	Buffalo, New York
U.S.A.	Clemson University	Clemson, South Carolina
U.S.A.	University of Colorado Boulder	Boulder, Colorado
U.S.A.	University of Connecticut	Storrs, Connecticut
U.S.A.	California State University, Fullerton	Fullerton, California
U.S.A.	The Catholic University of America	Washington, D.C.
U.S.A.	DeSales University	Center Valley, Pennsylvania
U.S.A.	Duquesne University	Pittsburgh, Pennsylvania
U.S.A.	George Mason University	Fairfax, Virginia
U.S.A.	Georgetown University	Washington, D.C.
U.S.A.	The George Washington University	Washington, D.C.
U.S.A.	University of Georgia	Athens, Georgia

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
U.S.A.	Georgia Institute of Technology	Atlanta, Georgia
U.S.A.	Gonzaga University	Spokane, Washington
U.S.A.	Haverford College	Haverford, Pennsylvania
U.S.A.	University of Hawaii at Manoa	Honolulu, Hawaii
U.S.A.	College of the Holy Cross	Worcester, Massachusetts
U.S.A.	John Carroll University	Cleveland, Ohio
U.S.A.	Le Moyne College	Syracuse, New York
U.S.A.	University of Louisiana at Lafayette	Lafayette, Louisiana
U.S.A.	Loyola University Chicago	Chicago, Illinois
U.S.A.	Loyola Marymount University	Los Angeles, California
U.S.A.	Loyola University New Orleans	New Orleans, Louisiana
U.S.A.	Marquette University	Milwaukee, Wisconsin
U.S.A.	University of Miami	Coral Gables, Florida
U.S.A.	University of Minnesota	Minneapolis, Minnesota
U.S.A.	University of Missouri	Columbia, Missouri
U.S.A.	The University of Montana	Missoula, Montana
U.S.A.	The University of North Carolina at Chapel Hill	Chapel Hill, North Carolina
U.S.A.	University of North Carolina at Charlotte	Charlotte, North Carolina
U.S.A.	North Carolina State University	Raleigh, North Carolina
U.S.A.	University of North Florida	Jacksonville, Florida
U.S.A.	Northwest Missouri State University	Maryville, Missouri
U.S.A.	The University of Notre Dame du Lac	Notre Dame, Indiana
U.S.A.	Pace University	New York City, New York
U.S.A.	University of Pittsburgh	Pittsburgh, Pennsylvania
U.S.A.	University of Portland	Portland, Oregon
U.S.A.	Rose-Hulman Institute of Technology	Terre Haute, Indiana
U.S.A.	Saint Peter's University	Jersey City, New Jersey
U.S.A.	San Diego State University	San Diego, California
U.S.A.	University of San Francisco	San Francisco, California
U.S.A.	San José State University	San José, California
U.S.A.	Santa Clara University	Santa Clara, California
U.S.A.	University of California, Santa Cruz	Santa Cruz, California
U.S.A.	The University of Scranton	Scranton, Pennsylvania
U.S.A.	Seattle University	Seattle, Washington
U.S.A.	Seton Hall University	South Orange, New Jersey
U.S.A.	St. John's University	Queens, New York
U.S.A.	Saint Joseph's University	Philadelphia, Pennsylvania
U.S.A.	Saint Mary's College of California	Moraga, California
U.S.A.	St. Norbert College	De Pere, Wisconsin
U.S.A.	University of St. Thomas	St. Paul, Minnesota
U.S.A.	Suffolk University	Boston, Massachusetts
U.S.A.	Tennessee Tech University	Cookeville, Tennessee
U.S.A.	The University of Texas at Austin	Austin, Texas
U.S.A.	The New School	New York City, New York
U.S.A.	University of Massachusetts Amherst	Amherst, Massachusetts
U.S.A.	University of Massachusetts Boston	Boston, Massachusetts
U.S.A.	University of Virginia	Charlottesville, Virginia
U.S.A.	Washington and Jefferson College	Washington, Pennsylvania
U.S.A.	University of West Florida	Pensacola, Florida

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
U.S.A.	University of West Georgia	Carrollton, Georgia
U.S.A.	Winona State University	Winona, Minnesota
U.S.A.	University of Wisconsin-Madison	Madison, Wisconsin
U.S.A.	University of Wisconsin-Whitewater	Whitewater, Wisconsin
U.S.A.	Wittenberg University	Springfield, Ohio
U.S.A.	Xavier University	Cincinnati, Ohio
U.S.A.	York College of Pennsylvania	York, Pennsylvania
Egypt	Egypt-Japan University of Science and Technology	New Borg El-Arab City
秋学期英語集中コース対象校 (学内選考の募集：前年の9月末)		
U.S.A.	Creighton University	Omaha, Nebraska
U.S.A.	The University of Kansas	Lawrence, Kansas
U.S.A.	University of Mississippi	Oxford, Mississippi
U.S.A.	St. Mary's University, Texas	San Antonio, Texas

ドイツ語

留学可能年次：3年次以上

留学に必要なとされる語学能力：

ドイツ語技能検定試験(独検)準1級(2007年度以前の独検2級)もしくはゲーテインスティトゥートのドイツ語検定試験B1以上に合格しているか、それと同程度のドイツ語能力

出願に必要な書類：ドイツ文学科・ドイツ語学科の学生は証明書不要

上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。

- ①ドイツ語技能検定試験(独検)準1級合格証明書
- ②ゲーテインスティトゥートのドイツ語検定試験B1以上の合格証明書
- ③ドイツ語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

春学期出発のみ (学内選考の募集：前年の6月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Austria	Universität Graz	Graz
Germany	Universität Bayreuth	Bayreuth
Germany	Freie Universität Berlin	Berlin
Germany	Technische Universität Berlin	Berlin
Germany	Rheinische Friedrich-Wilhelms-Universität Bonn	Bonn
Germany	Hochschule Bremen	Bremen
Germany	Heinrich Heine Universität Düsseldorf	Düsseldorf
Germany	Katholische Universität Eichstätt-Ingolstadt	Eichstätt
Germany	Johann Wolfgang Goethe-Universität, Frankfurt am Main	Frankfurt am Main
Germany	Johann Wolfgang Goethe-Universität, Frankfurt am Main	Frankfurt am Main
Germany	Philosophisch-Theologische Hochschule Sankt Georgen	Frankfurt am Main
Germany	Albert-Ludwigs-Universität Freiburg	Freiburg
Germany	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg	Halle
Germany	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg	Heidelberg
Germany	Universität zu Köln	Köln

春学期出発のみ(学内選考の募集：前年の6月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Germany	Hochschule für Wirtschaft und Gesellschaft Ludwigshafen	Ludwigshafen
Germany	Hochschule für Philosophie München	München
Germany	Technische Hochschule Nürnberg Georg Simon Ohm	Nürnberg
Germany	Universität Paderborn	Paderborn
Germany	Universität Rostock	Rostock
Germany	Universität des Saarlandes	Saarbrücken
Germany	Universität Trier	Trier
Germany	Eberhard Karls Universität Tübingen	Tübingen
Germany	Universität Witten/Herdecke	Witten
Liechtenstein	Universität Liechtenstein	Vaduz
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg
Switzerland	Universität St. Gallen	St. Gallen

秋学期出発のみ(学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
France	Institut d'Etudes Politiques de Paris	Paris
France	Institut National des Langues et Civilisations Orientales (INALCO)	Paris
France	Université Catholique de Lille	Lille
France	Université de Lille	Lille
France	Université Catholique de Lyon	Lyon
France	Université Jean Moulin Lyon 3	Lyon
France	NEOMA Business School	Mont-Saint-Aignan
France	Université Panthéon-Assas Paris II	Paris
France	Université Paris X - Nanterre	Nanterre
France	Université Paul-Valéry Montpellier 3	Montpellier
France	Université de Strasbourg	Strasbourg
France	Institut Catholique de Toulouse	Toulouse
Luxembourg	Université du Luxembourg	Luxembourg
Switzerland	Université de Genève	Genève

フランス語

留学可能年次：2年次または3年次以上 ※大学により異なる
 留学に必要なとされる語学能力：
 フランス文学科・フランス語学科の3年次程度のフランス語能力、もしくはフランス文部省認定資格試験の DELF B1 以上、もしくは TCF B1 以上に合格、または仏検2級取得程度

出願に必要な書類：フランス文学科・フランス語学科の学生は証明書不要
 上記以外の学科の学生は、次の①～③のいずれか1つを出願時に提出すること。
 ①DELF B1 以上または TCF B1 以上の合格証明書
 ②仏検2級合格証明書
 ③フランス語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

秋学期出発のみ(学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Belgium	Université Catholique de Louvain	Louvain-la-Neuve
Belgium	Université de Namur	Namur
Canada	Université Laval	Québec City
Canada	Université de Montréal	Montréal
France	Université d'Aix-Marseille	Aix-en-Provence
France	Université d'Angers	Angers
France	Burgundy School of Business (IH ESC Dijon)	Dijon
France	Université Catholique de l'Ouest, Angers	Angers
France	Université Marie & Louis Pasteur	Besançon
France	Université Bordeaux Montaigne	Pessac
France	EAC Group Business School of Arts, Culture and Luxury	Paris
France	Excelia (IH ECEM Tours)	Tours
France	Université de Tours	Tours
France	ESSEC Business School	Cergy-Pontoise
France	Institut Catholique de Paris (ICP)	Paris
France	Institut d'Etudes Politiques de Grenoble	Grenoble

イスパニア語

留学可能年次：3年次以上
 留学に必要なとされる語学能力：イスパニア語学科2年次修了程度のイスパニア語能力

出願に必要な書類：
 イスパニア語学科の学生は証明書不要だが、出発時までに「基礎イスパニア語IIA-2」および「基礎イスパニア語IIB-2」を修得しなければならない。決定後であっても、これを満たせない場合は決定を取り消す。イスパニア語学科の学生のうち、DELE B1 以上の合格証明書を提出した者は、上記2科目の履修登録前の出発であっても出願することができる。ただし、出発時までに履修した専攻外国語科目を修得できなかった場合は決定を取り消す。
 イスパニア語学科以外の学生は、次の①②のいずれか1つを出願時に提出すること。
 ①DELE B1 以上の合格証明書
 ②イスパニア語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

春学期出発(学内選考の募集：前年の6月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Argentina	Universidad Católica de Córdoba	Córdoba
Argentina	Universidad del Salvador	Buenos Aires
Chile	Universidad Alberto Hurtado	Santiago
Chile	Pontificia Universidad Católica de Chile	Santiago
Peru	Pontificia Universidad Católica del Perú	Lima
Peru	Universidad del Pacifico	Lima
Uruguay	Universidad Católica del Uruguay	Montevideo
秋学期出発(学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Colombia	Pontificia Universidad Javeriana	Bogotá
Colombia	Universidad de los Andes	Bogotá
Guatemala	Universidad Rafael Landívar	Guatemala City

秋学期出発 (学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Mexico	El Colegio de México	Mexico City
Mexico	Universidad de Guadalajara	Guadalajara
Mexico	Universidad de Guanajuato	Guanajuato
Mexico	Universidad Iberoamericana	Mexico City
Mexico	Universidad Iberoamericana León	León
Mexico	Universidad Nacional Autónoma de México	Mexico City
Mexico	Instituto Tecnológico Autónomo de México	Mexico City
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Monterrey	Monterrey
Mexico	Instituto Tecnológico y de Estudios Superiores de Occidente	Tlaquepaque
Spain	Universitat Autònoma de Barcelona	Barcelona
Spain	Universidad de Burgos	Burgos
Spain	Universidad Pontificia Comillas	Madrid
Spain	Universidad de Córdoba	Córdoba
Spain	Universidad de Deusto	Bilbao
Spain	Universidad de Granada	Granada
Spain	Universidad de Jaén	Jaén
Spain	Universidad de La Laguna	Canary Islands
Spain	Universidad de Las Palmas de Gran Canaria	Canary Islands
Spain	Universidad Loyola Andalucía	Córdoba
Spain	Universidad Autónoma de Madrid	Madrid
Spain	Universidad de Navarra	Pamplona
Spain	Universidad de Salamanca	Salamanca
Spain	Universidad de Sevilla	Sevilla
Spain	Universitat de Lleida	Lleida
Spain	Universitat de València	Valencia
Spain	Universidad Católica de Valencia San Vicente Mártir	Valencia

ロシア語

留学可能年次：3年次以上

留学に必要なとされる語学能力：ロシア語学科2年次修了程度のロシア語能力

出願に必要な書類：ロシア語学科の学生は証明書不要

上記以外の学科の学生は、ロシア語能力を示す証明書のコピーまたはロシア語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Belarus	Belarusian State University	Minsk
Belarus	Minsk State Linguistic University	Minsk
Bulgaria	Sofia University	Sofia

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Russia	Far Eastern Federal University	Vladivostok
Russia	Moscow State University	Moscow
Russia	Moscow State Institute of International Relations (University) of the Ministry of Foreign Affairs of the Russian Federation (MGIMO)	Moscow
Russia	Petrozavodsk State University	Petrozavodsk
Russia	Ryazan State University	Ryazan
Russia	Saint-Petersburg State University of Culture	St. Petersburg
Russia	Voronezh State University	Voronezh
Serbia	University of Belgrade	Belgrade
Uzbekistan	Tashkent State Institute of Oriental Studies	Tashkent
秋学期出発 (学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Kazakhstan	Al-Farabi Kazakh National University	Almaty
Russia	Herzen State Pedagogical University of Russia	St. Petersburg
Russia	Moscow City University	Moscow
Russia	Moscow State Linguistic University	Moscow
Russia	Saint Petersburg State University	St. Petersburg

ポルトガル語

※1年留学のみ

留学可能年次：3年次以上

留学に必要なとされる語学能力：授業についていけるポルトガル語能力

出願に必要な書類：ポルトガル語学科の学生は証明書不要

上記以外の学科の学生は、ポルトガル語能力を示す証明書のコピーまたはポルトガル語能力を示す本学常勤教員による語学能力証明書を提出すること。

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

春学期出発 (学内選考の募集：前年の6月初旬)		
所在国	大学名	所在地
Brazil	Universidade de Brasília	Brasília
Brazil	Pontificia Universidade Católica do Rio Grande do Sul	Porto Alegre
Brazil	Universidade de São Paulo	São Paulo
Brazil	Pontificia Universidade Católica de São Paulo	São Paulo
Brazil	Universidade Estadual de Campinas	Campinas
秋学期出発 (学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬)		
所在国	大学名	所在地
China	University of Macau	Macau
Portugal	Universidade de Aveiro	Aveiro
Portugal	Universidade Católica Portuguesa	Lisboa
Portugal	Universidade de Coimbra	Coimbra
Portugal	Universidade do Minho	Braga
Portugal	Universidade do Porto	Porto

イタリア語

留学可能年次：2年次以上また3年次以上 ※大学により異なる
留学に必要とされる語学能力：授業についていけるイタリア語能力

出願に必要な書類：
イタリア語能力を証明する書類、または原則としてイタリア語を母語とする本学イタリア語常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬）		
所在国	大学名	所在地
Italy	Università di Cagliari	Cagliari
Italy	Università Carlo Cattaneo (LIUC)	Castellanza
Italy	L' Università degli Studi di Napoli "L' Orientale"	Napoli
Italy	Università degli Studi di Perugia	Perugia
Italy	Università di Macerata	Macerata
Italy	Università di Roma "La Sapienza"	Roma
Italy	Università Ca' Foscari Venezia	Venezia

韓国語

留学可能年次：3年次以上
留学に必要とされる語学能力：授業についていける韓国語能力

出願に必要な書類：
韓国語能力を証明する書類、または原則として韓国語を母語とする本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

春学期出発のみ（学内選考の募集：前年の6月初旬）		
所在国	大学名	所在地
South Korea	The Catholic University of Korea	Bucheon
South Korea	Catholic University of Daegu	Gyeongbuk
South Korea	Hankuk University of Foreign Studies	Seoul
South Korea	Hanyang University	Seoul
South Korea	Korea University	Seoul
South Korea	Pusan National University, College of Humanities	Busan
South Korea	Seoul National University	Seoul
South Korea	Sogang University	Seoul
South Korea	Sookmyung Women's University	Seoul
South Korea	Yonsei University	Seoul

中国語

留学可能年次：2年次または3年次以上 ※大学により異なる
留学に必要とされる語学能力：授業についていける中国語能力

出願に必要な書類：
中国語能力を証明する書類、または原則として中国語を母語とする本学常勤教員による語学能力証明書

※協定校によっては上記にかかわらず出願に必要な語学要件・証明書がある。各協定校の語学要件等については、学内選考募集時の出願要項等を確認すること。

秋学期出発のみ（学内選考の募集：前年の9月末～10月初旬）		
所在国	大学名	所在地
China	Beijing Foreign Studies University	Beijing
China	Central University of Finance and Economics	Beijing
China	China Foreign Affairs University	Beijing
China	The Chinese University of Hong Kong (CUHK)	Shatin, Hong Kong
China	Dalian University of Technology	Dalian
China	Fudan University	Shanghai
China	Harbin Institute of Technology	Harbin
China	Nankai University	Tianjin
China	Peking University	Beijing
China	Renmin University of China	Beijing
China	Shanghai International Studies University	Shanghai
China	Sichuan University	Chengdu
China	Tsinghua University	Beijing
China	Wuhan University	Wuhan
China	Xiamen University	Xiamen
China	University of Macau	Macau
Taiwan	Fu Jen Catholic University	New Taipei City
Taiwan	National Chengchi University	Taipei
Taiwan	National Taiwan University	Taipei

個人情報保護について

上智大学の個人情報保護への取組みについては下記URLをご参照ください。

<https://www.piloti.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/>

Please refer to the following URL on our approach to the Personal information protection.

<https://www.piloti.sophia.ac.jp/eng/info/privacypolicy/>

留学ハンドブック 2026

Handbook for 2026



上智大学公式 WEB PILOTI「グローバル教育・留学」



My Sophia > 学び・教育 > グローバル教育センター



留学ガイダンス

各回とも同内容（日本語）

- ① 4月 9日（木）
- ② 4月 13日（月）
- ③ 9月 28日（月）

留学フェア

Study Abroad Fair

6月中旬 ※予定
Mid June ※Tentative

留学ガイダンス・フェアの詳細はMy Sophia・X等で案内します

2026年4月1日発行

編集・発行 上智大学グローバル教育センター（2号館1階）

Sophia University Center for Global Education and Discovery（1st fl, Bldg. 2）

窓口時間 [授業期間]（月～金）10：00-11：30 / 12：30-15：30

[授業期間外]（月～金）12：30-15：30

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1

<https://www.sophia.ac.jp/>

X @Sophia_Global

Instagram @Sophia_cged